VIERA ビエラ

Panasonic



取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー搭載 ポータブル地上デジタルテレビ

品番 DMP-BV100

ブルーレイディスク/DVD関連情報（動作確認情報など）は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください。
詳しくは裏表紙をご覧ください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に **「安全上のご注意」（➜ 68 ～71 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
準備
テレビ放送
映像
音楽
写真
接続
ネットワーク
設定
必要なとき

本機の特長

見る

テレビを見る

本機の 4 アンテナ ダイバーシティーシステムで高画質な地上デジタル放送を楽しむことができます。

- ■ 電波状況が悪い場所では、自動的に携帯端末用のワンセグ放送に切り換わります。
- ■ 地上アナログ・BS デジタル・110 度 CS デジタル放送は受信することができません。
- ■ 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。
- ■ 地上デジタル放送やワンセグの放送エリアなどの最新情報について詳しくは下記ホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

● ● ● 16 ページ

BD/DVD/SD カードを見る

ブルーレイディスクや DVD の映像、また SD カードやディスクに記録した写真やハイビジョン動画 (AVCHD) を楽しむことができます。

● ● ● 23 ページ

さらに、音楽 CD を聞きながら SD カードに記録された写真をスライドショー再生するデジタルフォトフレームとして楽しむことができます。

● ● ● 31 ページ



楽しむ



インターネットに接続して楽しむ

インターネットを利用して動画共有サイトのサービスを楽しむことができます。（テレビでネット）

● ● ● 40 ページ

ネットワーク接続した機器の映像を楽しむ [ビエラリンク (LAN)]

別の部屋の当社製 DLNA 対応レコーダーなどに保存された映像を本機で楽しむことができます。

● ● ● 41 ページ

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（➜68〜71ページ）

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



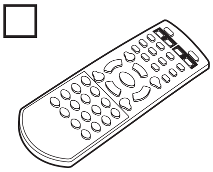
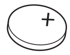
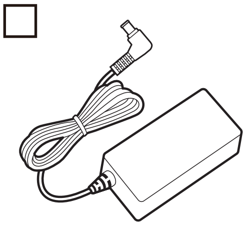
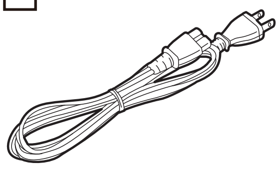
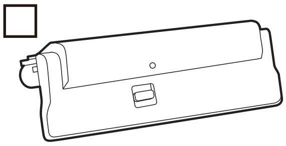
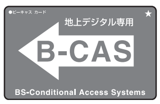
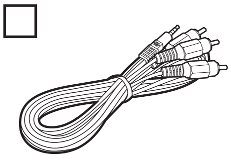
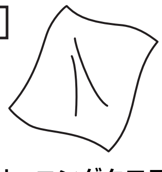
音のエチケット
シンボルマーク

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属品

付属品をご確認ください。

- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。(品番を記載しているもののみ)
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

☐  **リモコン(1 個)** N2QAJC000014	☐  **ボタン電池**※1 **(1 個)** リモコン用 リチウムボタン電池
☐  **AC アダプター**※2 **(1 個)** RFEA219J	☐  **電源コード(1 本)** K2CA2CA00034
☐  **バッテリーパック**※1 **(1 個)** 充電式リチウムイオン電池	☐  **B-CAS カード(1 枚)** ● 本カードの紛失(➜ 10)
☐  **映像・音声コード(1 本)** K2KC4CB00029	☐  **クリーニングクロス(1 枚)** RFE0213

※1 買い換えの際は別売品をお買い求めください。**(➜ 右記)**

※2 ポータブル BD/DVD 用と表示されていますが、本機でご使用いただけます。

■ 別売品のご紹介

HDMI ケーブル	(1.0 m)	RP-CDHG10
	(1.5 m)	RP-CDHG15
	(2.0 m)	RP-CDHG20
	(3.0 m)	RP-CDHG30
レンズクリーナー		SZZP1038C ※3
ブルーレイ /DVD ディスククリーナー		RP-CL750
ボタン電池(リモコン用リチウムボタン電池)		CR2025
バッテリーパック(充電式リチウムイオン電池)		DY-DB15 DY-DB100

※3 サービスルート扱いでご用意しております。お買い上げの販売店にご注文ください。

付属品、別売品の品番は、2009 年7月現在のものです。変更されることがあります。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

CLUB Panasonic
Pana Sense

■ 充電式リチウムイオン電池について

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRC のホームページをご参照ください。

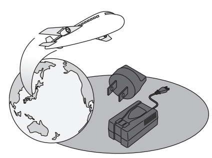
充電式
リチウムイオン電池使用
Li-ion 00

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

■ 海外で使うには

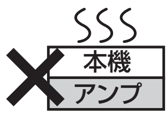


AC アダプターは、電源電圧(100 V ～ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。
- テレビ放送を受信できるのは日本国内のみです。

取り扱いについて

本機の設置場所



- アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。

■ つゆつきについて

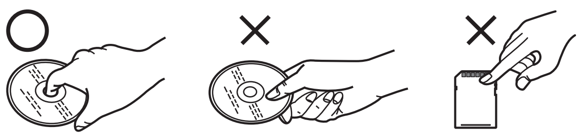
冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。



- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - · 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
  - · 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - · 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こりそうなときは、設置場所の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

ディスク・SD カードの取り扱い

■ 持ちかた

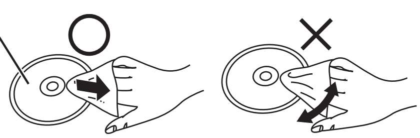


信号面や端子面には手を触れない

■ ディスクが汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
汚れがひどいときは、別売のブルーレイ /DVD ディスククリーナー (➜ 4) をご使用ください。

信号面
（光っている面）
内側から外へ

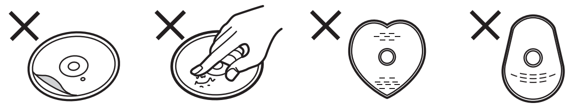


- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

■ 破損や機器の故障防止のために

次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
  - · シールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - · 印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - · 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - · 以下のディスクを使わない。
    - – シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - – そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - – ハート型など、特殊な形のディスク



- SD カード
  - · SDカード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

■ 保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後はケースに収めてください。

お手入れ

■ 本機

- バッテリーパックを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、付属のクリーニングクロスで軽くふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたしたクリーニングクロスをかたく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんは液晶画面には使用しないでください。外装ケースへのご使用の際は、その注意書きに従ってください。

お知らせ

- 液晶画面や画面の周りは特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

■ レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、別売のレンズクリーナー (➜ 4) でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

ディスク・SD カードについて

市販ディスク

本機では下記の市販ディスクを再生することができます。ディスクロゴはディスクやパッケージをご覧ください。

➜ 7「リージョンコード / リージョン番号について」

メディアの種類とロゴ	特徴	本書内の表示
BD ビデオ	**映画や音楽など、ハイビジョン画質・最大 7.1ch 音声に対応する市販ソフト** ● BONUS*VIEW* ™ (BD-ROM Profile 1 version 1.1/ Final Standard Profile) 対応ディスクについて ➜ 28 BONUS*VIEW* ™ ● BD-Live (BD-ROM Profile 2) 対応ディスクについて ➜ 28 BD LIVE™	BD-V
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト**	DVD-V
CD	**音楽や音声が記録された市販ソフト** ● CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。	CD

記録ディスク

本機では他の機器で記録した下記のディスクを再生することができます。

ファイナライズ済　このマークがあるディスクを本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

メディアの種類とロゴ	フォーマット	本書内の表示
BD-RE ※1	● Blu-ray Disc Rewritable Format ● JPEG	BD-V ※2 BD-AV ※3 JPEG
BD-R ※1	● Blu-ray Disc Recordable Format	BD-V ※2 BD-AV ※3
DVD-RAM※4	● VR（DVD ビデオレコーディング）規格 Ver.1.1 ● JPEG ● AVCREC ● AVCHD	DVD-VR JPEG AVCREC AVCHD
DVD-R/RW ファイナライズ済	● DVD ビデオ規格 ● VR（DVD ビデオレコーディング）規格 Ver.1.1 ● MP3※5 ● JPEG ※5 ● AVCREC ※5 ● AVCHD	DVD-V DVD-VR MP3 JPEG AVCREC AVCHD
DVD-R DL ファイナライズ済	● DVD ビデオ規格 ● VR（DVD ビデオレコーディング）規格 Ver.1.2 ● MP3 ● JPEG ● AVCREC ● AVCHD	DVD-V DVD-VR MP3 JPEG AVCREC AVCHD
+R/+RW/ +R DL ファイナライズ済	● +VR (+R/+RW ビデオレコーディング) ● AVCHD	DVD-V AVCHD
CD-R/RW ファイナライズ済	● CD-DA ● MP3 ● JPEG	CD MP3 JPEG

● 使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作りかたにより再生できない場合があります。

※1 片面 2 層（50 GB）のディスク (DL) や、LTH type (➜ 62) も再生することができます。
※2 ハイビジョンムービーでハイビジョン動画 (AVCHD) を記録した場合や、当社製ブルーレイディスクレコーダー、DMR-BW200 で、ハイビジョンムービーの動画 (AVCHD) を記録した場合
※3 2007 年以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで、番組やハイビジョンムービーの動画 (AVCHD) などを記録した場合 (2009 年 1 月現在)
※4 「RAM 2」マークのついた DVD-RAM ディスク (6X 以上の 高速記録対応) も再生することができます。
※5 DVD-RW には対応していません。

リージョンコード / リージョン番号について

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられたコードです。本機では下記のマーク（リージョンコード / リージョン番号）が表示されたディスクを再生することができます。

■ BD ビデオ

「A」または「A」を含むものが表示されたディスクを再生することができます。

例)



■ DVD ビデオ

「2」（または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたディスクを再生することができます。番号は国により違います。

例)



再生できないディスク

- カートリッジ付きの BD-RE (Ver.1.0)
- カートリッジ付きの DVD-RAM（TYPE1）
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
- 他の機器で記録し、ファイナライズされていない DVD-R（ビデオ方式)、DVD-R DL（ビデオ方式)、DVD-RW（ビデオ方式)
- PAL 方式で記録されたディスク
- リージョンコード**「A」を含まない** BD ビデオ
- リージョン番号**「2」「ALL」以外**の DVD ビデオ
- HD DVD
- DVD-ROM、CD-ROM、CDV、CD-G、SACD、Photo CD、CVD、MV-Disc、PD
- DVD-RW Ver.1.0
- DVD-RW（片面 2 層）
- DVD オーディオ
- ビデオ CD、SVCD
- WMA ディスク
- DivX ディスク
- 1秒間に50フレームのレートで記録されたBDビデオ

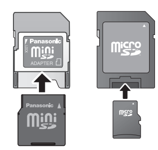
SD カード

本機では他の機器で記録した下記のカードを再生することができます。

メディアの種類	フォーマット	本書内の表示
SD メモリーカード※1 (8 MB ～ 2 GB まで) **SDHC メモリーカード※2 (4 GB ～ 32 GB まで)**	● AVCHD ● JPEG	AVCHD JPEG
	● MPEG2 ● MPEG-4 AVC/ H.264※3	SD VIDEO

※1 miniSD カードや microSD カードも使用できます。
※2 microSDHC カードも使用できます。
※3 当社製ブルーレイディスクレコーダー、DMR-BW950 などで、ワンセグ放送を記録した場合

- 本書では上記の表のカードを「SD カード」と記載しています。
- miniSD カード、microSD カード、microSDHC カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。



- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/bd/
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- 4 GB ～ 32 GB の SD カードは、SDHC ロゴのある SD カードのみ使用できます。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
- SD カードをパソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
- SD カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、SD カードの内容を誤って消去することを防げます。



■ メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

パソコンなどの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

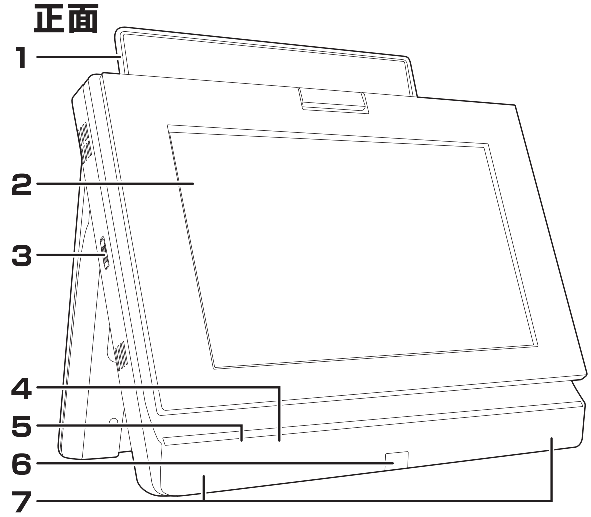
準備

各部のはたらき

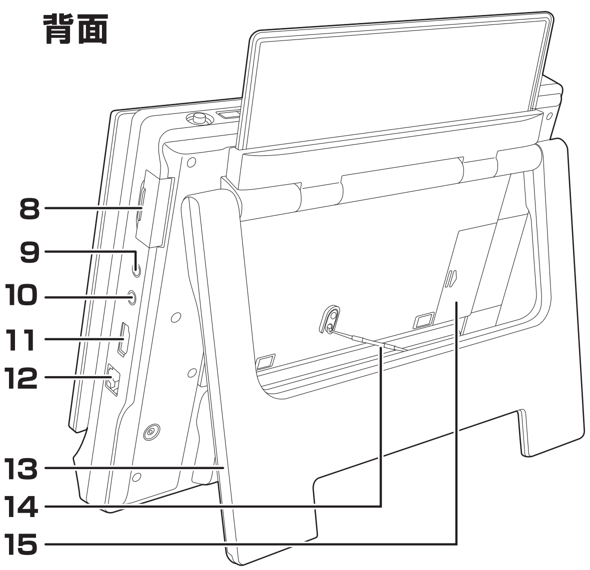
本体

（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。）

正面

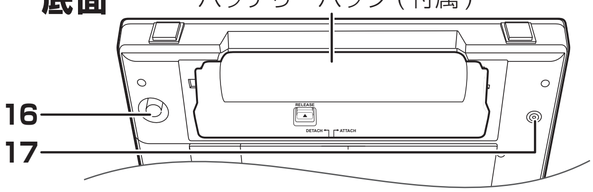


背面

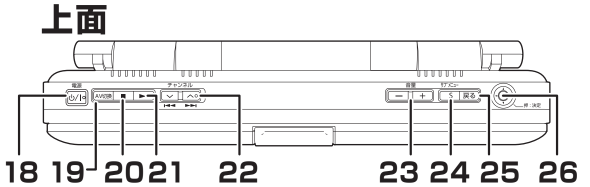


底面

バッテリーパック (付属)



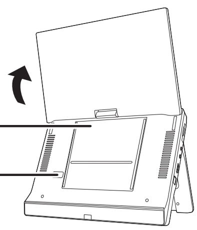
上面



1　アンテナ (➜ 14)

2　液晶画面

画面を開いたとき



ディスクぶた

ディスクぶたを開ける (➜ 13)

3　アンテナを切り換える (➜ 14)

4　[CHARGE] ランプ：
バッテリーパック充電時に点灯 (➜ 11)

5　[⏻] ランプ：
AC アダプター接続時に点灯 (電源「切」時のみ) (➜ 11)/ 画面「切」時に点滅 (➜ 12)

6　リモコン受信部 (➜ 9)

7　スピーカー

8　SD カードを入れる (➜ 13)

9　映像・音声コードで接続する (➜ 32)

10　ヘッドホン端子 [🎧]
(φ 3.5 mm ステレオミニジャック)

11　HDMI ケーブルで接続する (➜ 32)

12　ネットワーク接続をする (➜ 36)

13　スタンド (➜ 10)

14　ストッパーワイヤー (➜ 10)

15　B-CAS カードを挿入する (➜ 10)

16　外部アンテナを接続する (➜ 14)

17　AC アダプターを接続する (➜ 11)

18　本機の電源を入 / 切する (➜ 12)

19　再生するメディアや操作する機能を切り換える
押すごとに切り換わります。

TV → DISC → SD → NETWORK → AUX → (TV へ戻る)

20　停止する

21　再生する

22　テレビ放送のチャンネルを切り換える / タイトルなどを飛び越す

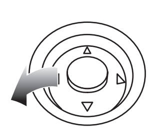
23　音量を調整する

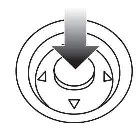
24　サブメニューを表示する

25　前の画面に戻る

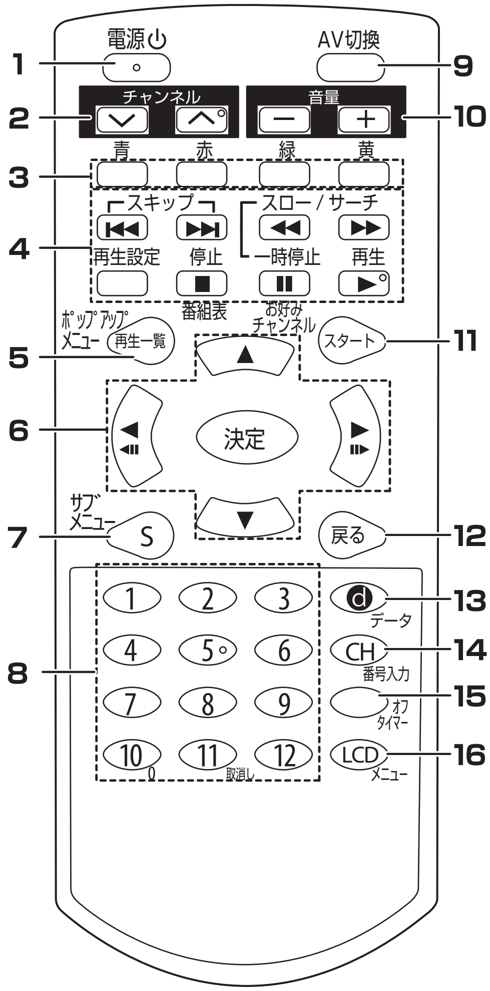
26　画面上で選択する / 決定する：

選択する：上下左右 ([▲][▼][◀][▶]) に傾ける	決定する：まっすぐ押し込む
例：左側の項目を選ぶとき	例：操作を決定するとき





リモコン



1　本機の電源を入 / 切する (➜ 12)
2　テレビ放送のチャンネルを切り換える (➜ 16)
3　画面上の指示に応じて使用する
4　テレビ放送視聴や再生時の基本操作
5　再生一覧画面を表示する / ポップアップメニューを表示する (➜ 23)
6　画面上で選択する / 決定する、コマ送り / コマ戻しする
- 選択する ：上下左右 ([▲][▼][◀][▶]) を押す
- 決定する：(決定) を押す
- コマ送り / コマ戻し ：（一時停止中）左右 ([◀][▶]) を押す

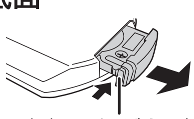
7　サブメニューを表示する
8　チャンネルや番組などを番号で選ぶ / 番号や文字を入力する
- 2けた入力
  例）5：(10/0) ➜(5)、15：(1) ➜(5)
- 3けた入力
  例）5：(10/0) ➜(10/0) ➜(5)、
  15：(10/0) ➜(1) ➜(5)

9　再生するメディアや操作する機能を切り換える (➜ 8)
10　音量を調整する
11　スタート画面を表示する (➜ 13)
12　前の画面に戻る
13　データ放送の画面を表示する (➜ 21)
14　デジタル放送の3けた番号を入力する (➜ 19)
15　自動的に電源を切る (➜ 12)
16　画面設定を変える (➜ 12)

■ ボタン電池（付属）を入れる

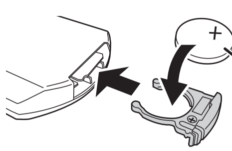
① ホルダーを引き抜く

底面



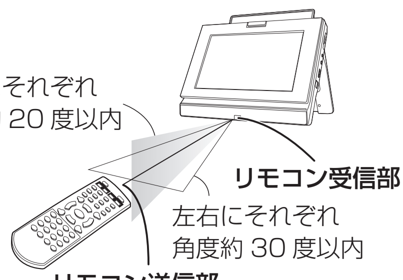
ここを押しながら引き抜く

② 電池を入れて、ホルダーを戻す



- 電池を廃棄する場合は、不燃ゴミとして処理してください。
  （または、地方自治体の条例に従ってください）

■ リモコンの使用範囲



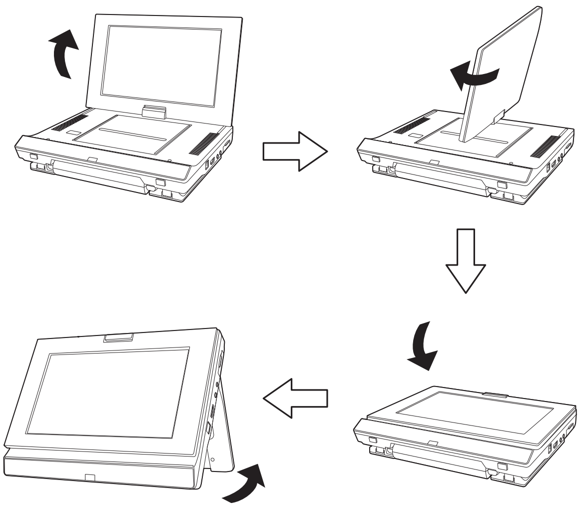
- リモコンと本機の間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

準備

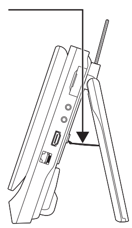
本機を設置する

● 本機はスタンドを開き、水平で安定した平面に立てて置いてください。

① 画面を開く　② 画面を回転させる



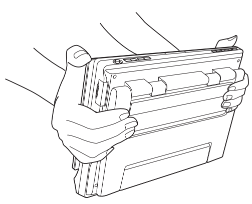
④ スタンドを開き、本機を立てて置く　③ 画面を外側に向けて閉じる



- **スタンドは、ストッパーワイヤーが張るまで開いてください。**
- **電源「入」時に画面を回転させると、画面の表示が消え、自動的に本機の電源は切れます。(➜ 12)**
- **上記③、④以外の状態や、画面を回転させている状態のときは、本機の電源を入れることはできません。(➜ 12)**
- **画面を十分開かずに回転させると、液晶画面の周りなどにすり傷がつくおそれがありますのでご注意ください。(➜ 71「画面を回転させるときのお願い」)**
- 車の中に取り付けることはできません。

本機を持つときは

スタンドを閉じた状態でお持ちください。



本機を移動させるときは

本機の電源を切り、画面・アンテナ・スタンドを閉じてください。

液晶画面について

0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、故障ではありません。

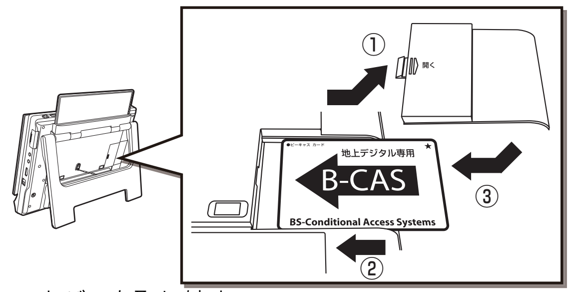
お願い

液晶画面を開いた状態で下にして置かないでください。
液晶画面や画面の周りは特殊な加工をしていますので、表面に傷がつく原因になります。

B-CAS カードを挿入する

地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、2004 年 4 月から原則としてコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるために **B-CAS カード (付属) が必要です。挿入しないと、デジタル放送が映りません。**
- B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってあるシートの説明をご覧ください。
- B-CASカードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。
  便利メモ (➜ **裏表紙**) などに控えておいてください。
- 本機でも番号を確認できます。(➜ 48)

挿入 / 取り出しをするときは、AC アダプターやバッテリーパックが接続されていないことを確認してください。



① カバーを取り外す
② B-CAS カードスロットに、カードを奥まで差し込む
③ カバーを取り付ける

- B-CAS カードのテストは、「かんたん設置設定」(➜ 14 〜 15) の中で行われます。
- B-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

■ カードの取り扱いについて

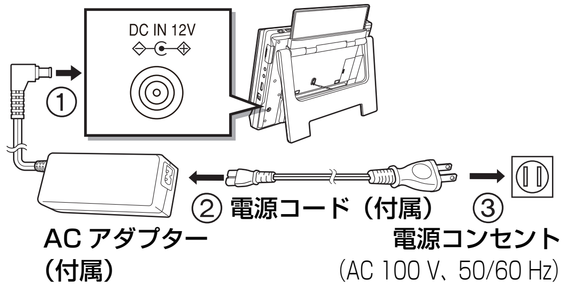
- 折り曲げたり変形させない。
- 重い物を置いたり、踏みつけない。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
- IC 部には、手を触れない。
- 分解や加工をしない。
- BS/110 度 CS デジタル放送対応受信機には使用しない。
  （同梱の B-CAS カードは地上デジタル専用です。）

お問い合わせは（紛失時など）

(株) ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

電源を準備する

AC アダプターを接続して使う



- AC アダプター接続時は、本機を立てて置いた状態でお使いください。スタンドを閉じた状態で置くと **(例 : ➜ 10「本機を設置する」③の状態)**、AC アダプターの破損や故障の原因になります。
- 電源が切れた状態でも、約 0.5 W の電力を消費しています（クイックスタート「入」時は約 4 W）。長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

バッテリーパックを使う

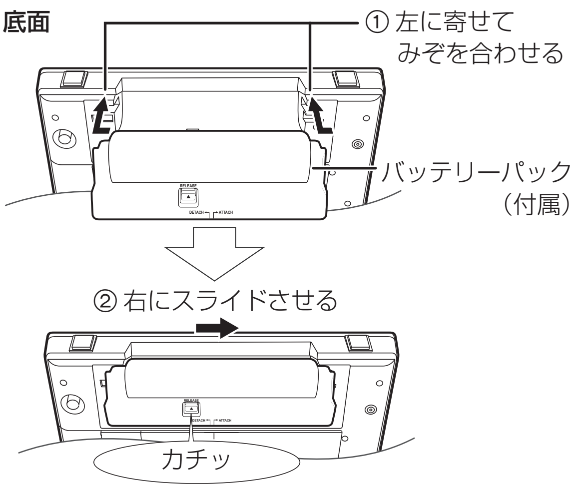
付属のバッテリーパックを装着すれば、屋外など電源コンセントがない場所でもお使いになれます。

- お買い上げ時、バッテリーパックは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- バッテリーパックは本機専用です。他の機器には使うことはできません。

バッテリーパックを取り付ける

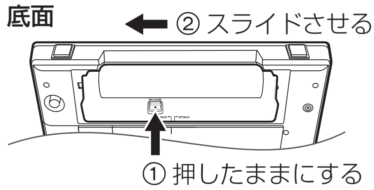
電源「切」状態 **(➜ 12「電源を入 / 切する」)** で行ってください。

- 液晶画面を内側に向けて閉じ、スタンドを開いた状態で行ってください。



確実に固定されていることを確認してください。

■ バッテリーパックを取り外すには



長時間使用しないときは

- バッテリーパックを取り外してください。
  （電源「切」状態でも微少電流が流れて過放電になり、故障する恐れがあります）
- 再使用時は充電してからお使いください。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを取り付けた後、AC アダプターを接続する (➜ 左記)



充電時間と再生時間

充電時間※1	ディスク (SD) 再生 / テレビ視聴時間※2		
	液晶画面の明るさ		
	－5	0	＋5
約 7 時間 (約 13 時間)	約2時間30分 （約5時間）	約2時間15分 （約4時間30分）	約 2 時間 (約 4 時間)

※1　電源「切」状態、20 ℃時
※2　ヘッドホン使用、20 ℃時

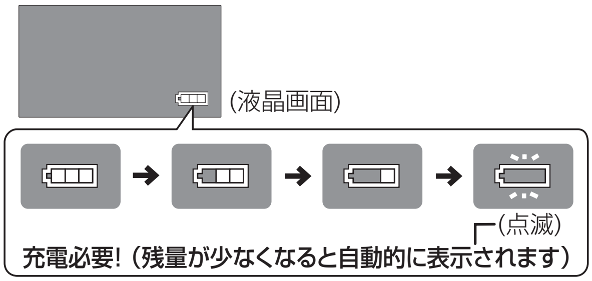
- カッコ内は DY-DB100（別売）使用時の時間です。
- 上記の時間は使用条件により異なります。

液晶画面の明るさを変えるには
➜ 12「液晶画面の映像を調整する」

バッテリーパックの残量を確認する

電源「入」状態でバッテリーパックのみを使用中に表示されます。

サブメニュー(S) を押す



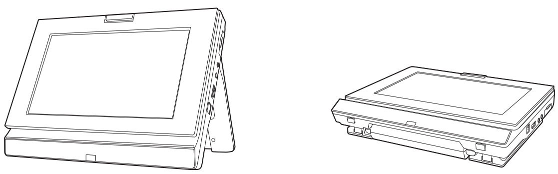
画面に数秒間表示されます。
（残量のおおよその目安としてください）

電源を入 / 切する

電源⏻ を押す (約 0.5 秒)

もう一度押すと「切」になります。

- **電源「入」時に画面を回転させると、画面の表示が消え、自動的に本機の電源は切れます。(➜ 10)**
- **下記以外の状態や、画面を回転させている状態のときは、本機の電源を入れることはできません。(➜ 10)**



- **初期設定**「無操作電源 [切] 」を「入」に設定している場合 (お買い上げ時の設定は 「入」)、停止状態で約 15 分 (バッテリーパック使用時は約 5 分) 経過すると自動的に電源が切れます。**(➜ 48)**
- 起動には時間がかかります。**初期設定**「クイックスタート」**(➜ 48)** を「入」に設定すると (お買い上げ時の設定は「切」)、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行えます。(待機時消費電力は増えます)

お知らせ

- 電源「入」時などに動作音がする場合がありますが、ピックアップの動作初期化のための動作に伴うもので異常ではありません。

自動的に電源を切る

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

オフタイマー を押して切り換える

例 : 30 分

オフタイマー	0 : 30

押すごとに切り換わります。

0:30 → 1:00 → 2:00 → 3:00 → 6:00 → 12:00 → 切 → (0:30 に戻る)

液晶画面の映像を調整する

1 LCD メニュー を押す

- 下記手順で表示することもできます。
  ① [**サブメニュー**] を押す
  ② [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[**決定**] を押す
  ③ [▲][▼] で「LCD（液晶）メニュー」を選び、[**決定**] を押す



2 [▲][▼] で項目を選ぶ （➜ 下記へ）

3 [▲][▼][◀][▶] で設定を変える

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

画質モード
▷**スタンダード** (STANDARD) : 標準
▷**<u>ダイナミック</u>** (DYNAMIC) :
明暗がはっきりした画質
▷**ナイト** (NIGHT) :
暗い場所での使用に適した画質
▷**ユーザー** (USER)
·**明るさ** (BRIGHT) (− 5 〜 + 5)
·**色の濃さ** (COLOR) (− 5 〜 + 5)

画面
「入」(映像表示)、「切」(映像なし) を選びます

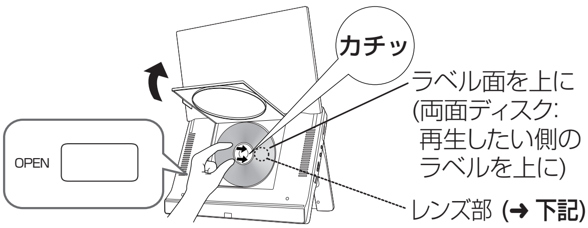
- 液晶画面を使わないときは、節電のため「切」にすることをおすすめします。([⏻] ランプが点滅)
- カッコ内の表示は、**[AV 切換]** で「AUX」選択時の表示です。**(➜ 33)**
「AUX」選択時に設定を変更した場合、上記の設定も同様に変更されます。

画面「切」から「入」に戻すには
[LCD] または [**サブメニュー**] を押す

設定を終了するには
[LCD] または [**戻る**] を押す

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

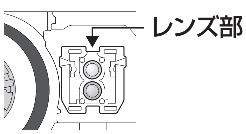


1 画面を開き、[OPEN] を押す

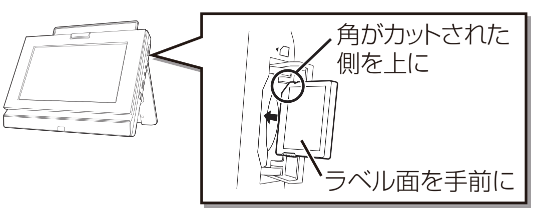
2 本機を手で支えた状態でディスクを入れ、ディスクぶたを閉める

3 画面を閉じる

- 電源が入った状態でディスクを入れると、再生が始まるものがあります。
- カートリッジ付きディスクについて
  - ・BD-RE(Ver.1.0):本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
  - ・DVD-RAM や 8 cm のディスク:カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。(TYPE1 は使えません)
  - ・使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、カートリッジに収めて保管してください。
- 汚れの原因になりますので、レンズ部には触れないでください。



SD カード



1 本機側面のカバーを開ける

2 SD カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

3 本機側面のカバーを閉じる

SD カードを取り出すには

上記手順 2 で、SD カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

スタート画面を表示する

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

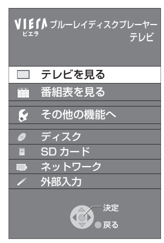
- 再生するメディアや操作する機能により、表示される項目は異なります。
- [AV 切換] で「AUX」選択時は、スタート画面を本機に表示することはできません。
  [ビエラリンク（HDMI)Ver.4 対応のテレビ (ビエラ) と HDMI ケーブルで接続している場合、ビエラの画面に本機のスタート画面を表示することができます。
  (➜ 35「接続したテレビのリモコンで本機を操作する」)]

1 (スタート) を押す

2 [▲][▼] で項目を選び、(決定) を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

例)「 TV 」選択時



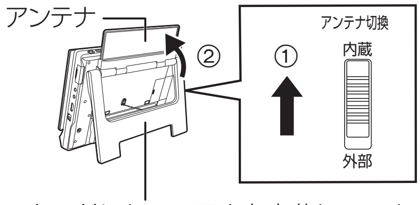
▷テレビを見る (➜ 16)
▷番組表を見る (➜ 16)
▷再生する (➜ 23)
▷トップメニュー (➜ 23)
▷メニュー (➜ 23、24、29、30)
▷ビエラリンク (LAN) (➜ 41)
▷テレビでネット (➜ 40)

▷その他の機能へ
- ・プレイリスト再生 (➜ 24)
- ・放送設定 (➜ 42)
- ・初期設定 (➜ 45)
- ・メール / 情報 (➜ 48)
- ・カード管理 (➜ 28)

▷テレビ (➜ 16)
▷ディスク (➜ 23、29、30)
▷SD カード (➜ 24、30)
▷ネットワーク (➜ 40、41)
▷外部入力 (➜ 33)

アンテナの準備をする

[アンテナ切換] を「内蔵」に切り換え、アンテナを立てる

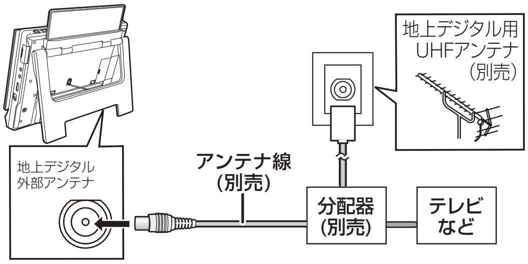


スタンドにもアンテナを内蔵しています。

- テレビを見ないときは、アンテナを元の位置に戻してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。

■ 映像が乱れる場合は

屋外 UHF アンテナと接続することをおすすめします。
[アンテナ切換] を「外部」に切り換えてください。



- ネジ式のアンテナ線で接続する場合は、市販のアンテナ用プラグアダプターのご使用をおすすめします。

お知らせ

CATV（ケーブルテレビ）と接続する場合は、ご自宅の CATV 方式について CATV 会社に確認してください。本機は同一周波数パススルー方式※のみに対応しており、トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式には対応しておりません。

※ CATV 会社が、地上デジタル放送を再送信する伝送方式です。ホームターミナル / セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。

■ 本機で受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送およびワンセグを受信することができます。2008 年 3 月までは、サイマル放送 (同じ時間帯に地上デジタル放送とワンセグでそれぞれ同じ内容の番組を放送すること) が運用されましたが、2008 年 4 月からは番組により異なる放送が部分的に行われています。

地上デジタル放送とは ➜ 60
ワンセグとは ➜ 61

- 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。
- 地上デジタル放送やワンセグの放送エリアなどの最新情報について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp

チャンネルを設定する (かんたん設置設定)

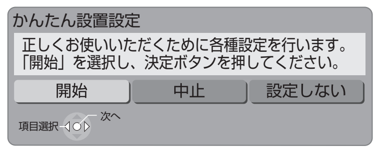
はじめて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。設定中は AC アダプターやバッテリーパックを外したり、電源を切らないでください。

- 設定したチャンネルは「お好みチャンネル (ホーム) 」(**➜ 18**) に保存されます。
- 内蔵アンテナで設定すると、お住まいの地域で受信できるチャンネルのすべてを設定できない場合があります。安定してチャンネルを設定したいときは、外部アンテナと接続することをおすすめします。(**➜ 左記**)

準備

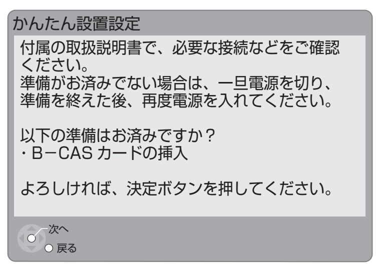
- B-CAS カードを挿入する (**➜ 10**)
- アンテナの準備をする (**➜ 左記**)

1 [◀][▶] で「開始」を選び、(決定) を押す



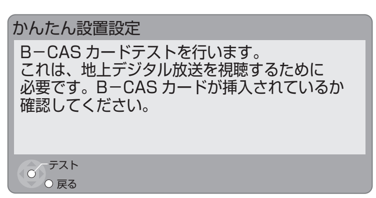
- 「中止」、「設定しない」を選んで **[決定]** を押すとチャンネルは設定されません。「中止」を選ぶと次回電源を入れたときに再び「かんたん設置設定」の開始画面が表示されます。「設定しない」を選ぶと表示されません。

2 表示内容を確認し、準備が済んでいれば (決定) を押す



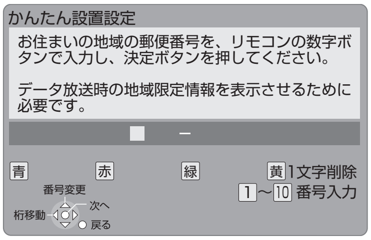
B-CAS テストの画面が出たら

B-CAS カードの挿入を確認し (**➜ 10**)、**[決定]** を押す



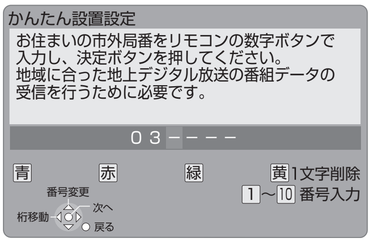
「OK」: **[決定]** を押し、次の手順に進んでください。
「NG」: デジタル放送を視聴できません。カードを挿入し直してください (**➜ 10**)。「OK」にならない場合は、販売店にご相談ください。

3 ① ～ ⑩ でお住まいの地域の郵便番号を入力し、(決定) を押す



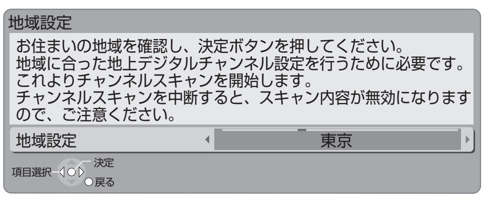
番号を間違えたときは
[黄] を押す

4 ① ～ ⑩ でお住まいの地域の市外局番を入力し、(決定) を押す

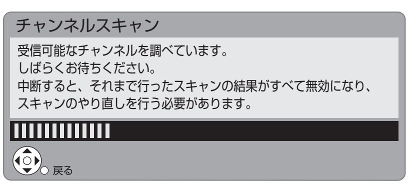


番号を間違えたときは
[黄] を押す

5 [◀][▶] でお住まいの都道府県を選択し、(決定) を押す



チャンネルの検索が始まります。
検索中は下記の画面が表示されます。



6 設定内容を確認し、[◀][▶] で「次へ」を選び、(決定) を押す

リモコンの数字ボタン番号
「1」～「12」はリモコンの数字ボタン番号
(変更できません)
「13」以降を表示するには [◀] [▶] で「修正する」を選んで [決定] を押し、「13」が表示されるまで [▼] を押してください。

3 けたチャンネル番号
画面に表示される番号です。

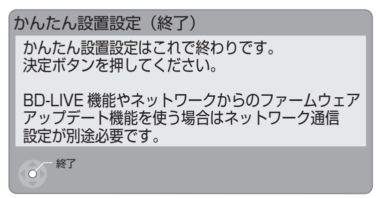


放送局名

チャンネル設定を修正するには
[◀][▶] で「修正する」を選んで [決定] を押し、「**チャンネル設定を修正する (マニュアル)**」(➜ 44) 手順 8 ～ 10 の操作を行ってください。

設定後、映りが悪いときは
本機の**放送設定**「受信設定」で本機のアンテナを調整してください。(➜ 43)
外部アンテナと接続することも可能です。(➜ 14)

7 (決定) を押して、終了する



ネットワーク通信設定するには ➜ 38

前の画面に戻るには
[戻る] を押す
- 手順 6、7 で前の画面に戻ることはできません。

テレビ放送を見る

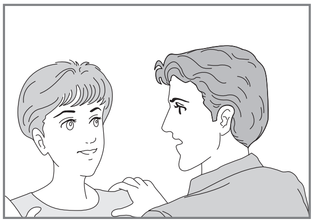
（本書では地上デジタル放送を中心に説明しています。）

準備

- アンテナの準備をする (➜ 14)

1 [AV切換] を押して、「TV」を選ぶ

画面右上に「TV」と表示された後、テレビ放送の画面に切り換わります。



電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグのいずれかが表示されます。
手動で切り換えることもできます。(➜ 19)

2 ① ～ ⑫ または [チャンネル ∨][∧] を押して、チャンネルを選ぶ

画面に表示が出ます (数秒後に消えます)。



- 画面表示について (➜ 19)

3 [音量 －][＋] を押して、音量を調整する

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

その他の方法で選局するには

➜ 右記、「番組表から選局する」
➜ 18「お好みチャンネルから選局する」
➜ 19「3けたチャンネル番号を入力して選局する」

[チャンネル∧,∨] で選べる放送局を変更するには

➜ 43 放送設定「選局対象」

数字ボタンで選べる放送局を変更するには

➜ 44「チャンネル設定を修正する (マニュアル)」

お知らせ

- 屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。場所を変えて試してください。

■ 緊急警報放送（EWS）について

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、お知らせ画面が表示されます。[決定] を押すと、緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。

- 緊急警報放送終了後は、元のチャンネルに自動で戻ります。

番組表から選局する

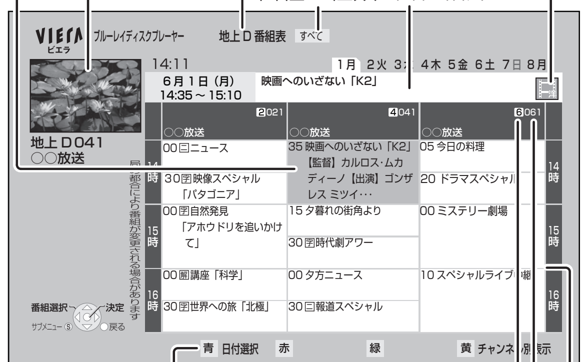
新聞のテレビ欄のような一覧表から番組を選ぶことができます。

- 番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、[決定] を押すと表示されます。（数分かかることもあります）

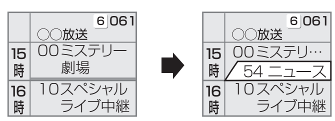
1 [■ 番組表] を押す

- 下記手順で表示することもできます。
  ① [サブメニュー] を押す
  ② [▲][▼] で「番組表」を選び、[決定] を押す

例）全チャンネル表示



※短い番組は青の線で表示されます。
選ぶと、番組情報が表示されます。



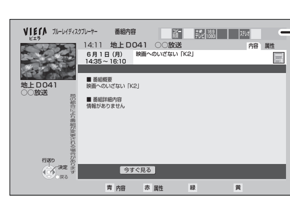
番組表の表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

2 [▲][▼][◀][▶] で放送中の番組を選び、[決定] を押す

選択中の番組内容画面が表示されます。

表示マークについて (➜ 63)



3 [決定] を押す

■ 番組表の受信について

- テレビ放送視聴中は、視聴中のチャンネルの番組表を自動的に受信します。
- 番組表は、地上デジタル放送は最大 8 日分、ワンセグは最大 10 番組表示されます。
- AC アダプターを接続した状態で電源「切」にすると、最新の番組表を自動的に受信します。内蔵アンテナをお使いの場合は、アンテナを立てておいてください。番組表の受信には数分間かかります。
- 本機は G ガイドの受信には対応していません。

別の日の番組表を表示する

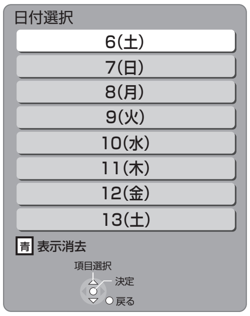
- 地上デジタル放送視聴中、全チャンネル表示時のみ

1 **[■ 番組表] を押す**

2 **[青] を押す**

3 **[▲][▼] で日付を選び、(決定) を押す**

例）



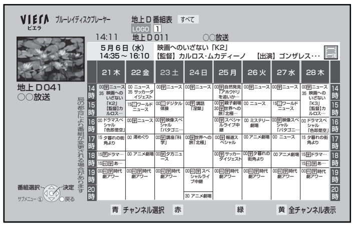
チャンネル別の番組表を表示する

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

- 地上デジタル放送視聴中のみ

1 **[■ 番組表] を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶] で表示したいチャンネルの番組を選び、[黄] を押す**



全チャンネル表示に切り換えるには

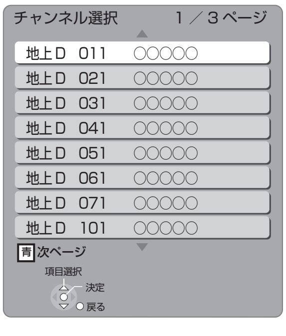
[黄] を押す

■ 別のチャンネルを表示する

① [青] を押す

- 次ページのチャンネルを表示させる場合は、もう一度 [青] を押してください。

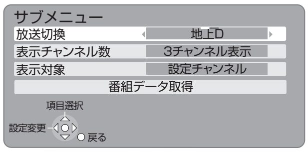
② [▲][▼] でチャンネルを選び、[決定] を押す



表示設定を変える

1 **[■ 番組表] を押す**

2 **[サブメニュー (S)] を押す**



3 **[▲][▼] で項目を選ぶ（➜ 下記へ）**

- 表示される内容は放送によって異なります。

放送切換

お好み番組表 (➜ 18) に切り換えます。

[◀][▶] で切り換える

表示チャンネル数

- 全チャンネル表示時のみ

1 画面に表示するチャンネル数を変更します。

[◀][▶] で設定を変更する

表示日数切換

- チャンネル別表示時のみ

1 画面に表示する日数を変更します。

[◀][▶] で設定を変更する

表示対象

番組表で表示させる内容を変更します。

[◀][▶] で設定を変更する

- 「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている 1～36までのチャンネルを表示
- 番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。

番組データ取得

選択した局の番組情報を受信します。

[決定] を押す

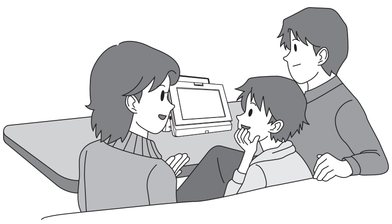
4 **[戻る] を押す**

お好みチャンネルから選局する

お好みチャンネルは、画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

- よく見るチャンネルを登録しておくと、選局時に便利です。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。
- 登録したチャンネルのリストを保存する場所として「ホーム」「おでかけ」の 2 種類があります。使用場所により使い分けると便利です（それぞれ 24 チャンネルまで登録可能）。

自宅で使用→「ホーム」
自宅周辺で受信した放送の保存場所としてお使いいただけます。



外出先で使用→「おでかけ」
移動中の使用など、頻繁にチャンネルを設定し直す必要がある場合の保存場所として便利です。



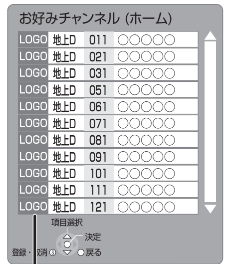
お知らせ

- 「お好みチャンネル (ホーム) 」には、「かんたん設置設定」 (➜ 14) で設定したチャンネルが保存されています。
- 「お好みチャンネル (おでかけ) 」には、お買い上げ時にはチャンネルは登録されていません。
「おでかけ更新」 (➜ 19) でチャンネルを設定してください。
- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定 (➜ 14) や初期スキャン・再スキャン (➜ 44) を行うと、登録した内容は取り消されます。

1 視聴中に、[お好み チャンネル] を押す

- 下記手順で表示することもできます。
  ① [サブメニュー] を押す
  ② [▲][▼] で「お好みチャンネル表示」を選び、[決定] を押す

例：お好みチャンネル (ホーム) 選択時



放送局のロゴは表示されない場合もあります。

2 [▲][▼] で放送局を選び、(決定) を押す

チャンネルを追加する

視聴中のチャンネルをリストの一番下に追加します。

1 視聴中に、[お好み チャンネル] を押す

2 [サブメニュー S] を押す

3 [▲][▼] で「登録」を選び、(決定) を押す

4 [◀][▶] で「はい」を選び、(決定) を押す

チャンネルを取り消す

1 視聴中に、[お好み チャンネル] を押す

2 [▲][▼] で取り消したい放送局を選び、[サブメニュー S] を押す

3 [▲][▼] で「取消」を選び、(決定) を押す

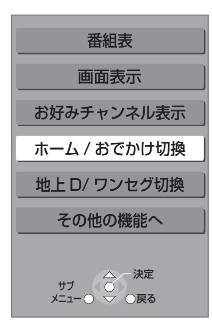
4 [◀][▶] で「はい」を選び、(決定) を押す

「ホーム」「おでかけ」を切り換える

1 視聴中に、[サブメニュー S] を押す

2 [▲][▼] で「ホーム / おでかけ切換」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼] で「ホーム」または「おでかけ」を選び、(決定) を押す



お好みチャンネル（おでかけ）に登録する

使用する場所で受信できるチャンネルを自動的に検索・設定するため、使用場所に応じて手軽にリストを登録・更新することができます。

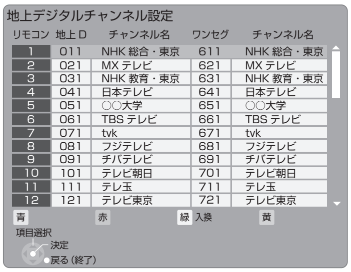
1 **視聴中に、(サブメニュー S) を押す**

2 **[▲][▼] で「ホーム / おでかけ切換」を選び、(決定) を押す**

3 **[▲][▼] で「おでかけ更新」を選び、(決定) を押す**

4 **設定内容を確認し、(戻る) を押す**

- お好みチャンネルは「おでかけ」に切り換わります。



地上デジタルチャンネル設定

リモコン	地上 D	チャンネル名	ワンセグ	チャンネル名
1	011	NHK 総合・東京	611	NHK 総合・東京
2	021	MX テレビ	621	MX テレビ
3	031	NHK 教育・東京	631	NHK 教育・東京
4	041	日本テレビ	641	日本テレビ
5	051	○○大学	651	○○大学
6	061	TBS テレビ	661	TBS テレビ
7	071	tvk	671	tvk
8	081	フジテレビ	681	フジテレビ
9	091	チバテレビ	691	チバテレビ
10	101	テレビ朝日	701	テレビ朝日
11	111	テレ玉	711	テレ玉
12	121	テレビ東京	721	テレビ東京

青　赤　緑 入換　黄

項目選択　決定　戻る（終了）

お知らせ

- 電源を切っても設定は保持されます。同じ場所でテレビを見る場合、再度チャンネルを登録する必要はありません。

3けたチャンネル番号を入力して選局する

放送局の3けたチャンネル番号を入力して選局することができます。

1 **(CH 番号入力) を押す**

2 **(1) ～ (10/0) を押して、チャンネルを入力する**

例）103 の場合…[1] → [10] → [3]

- 入力画面が表示されている間に入力してください。

枝番号の異なる放送を選局するには

➜ 20「枝番選局」

地上デジタル放送 / ワンセグを切り換える

1 **視聴中に、(サブメニュー S) を押す**

2 **[▲][▼] で「地上 D/ ワンセグ切換」を選び、(決定) を押す**

3 **[▲][▼] で設定したい項目を選び、(決定) を押す**

地上 D/ ワンセグ 自動切換

電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグのいずれかに切り換わります。

地上 D (固定)

地上デジタル放送のみ受信します。

ワンセグ (固定)

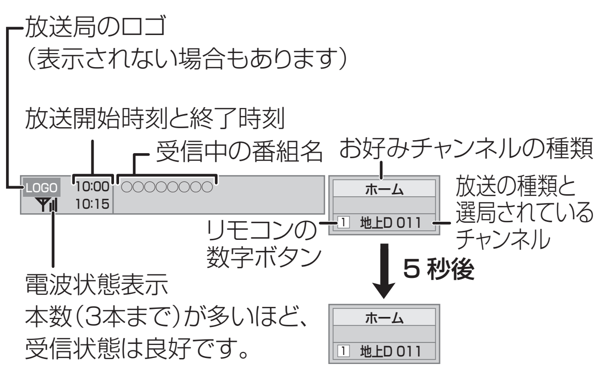
ワンセグのみ受信します。

見ている番組の情報を表示する

1 **(サブメニュー S) を押す**

2 **[▲][▼]で「画面表示」を選び、(決定) を押す**

例）お好みチャンネル（ホーム）選択中、
地上デジタル放送を見ているとき



画面表示を消すには

① [サブメニュー] を押す

② [戻る] を押す

テレビ放送

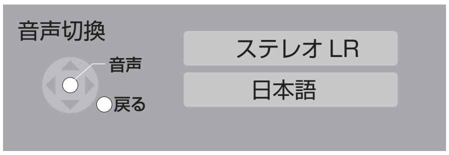
音声を切り換える

1 サブメニュー(S) **を押す**

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す**

3 **[▲][▼]で「音声切換」を選び、(決定) を押す**

例）



4 **(決定) を押して切り換える**

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

- 放送内容が 1 つしかないときは切り換えできません。

例）二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) →（二重L(主)に戻る）

例）マルチ音声放送

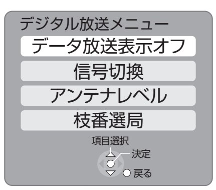
ステレオLR 日本語 → ステレオL 日本語 → ステレオ R 日本語 → ステレオLR 英語 → ステレオL 英語 → ステレオ R 英語 →（ステレオLR 日本語に戻る）

放送内容の設定を変える

1 サブメニュー(S) **を押す**

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す**

例）



3 **[▲][▼] で「デジタル放送メニュー」を選び、(決定) を押す**

4 **[▲][▼] で設定項目を選び、(決定) を押す（ ➜ 右記へ）**

- 表示される内容は放送によって異なります。

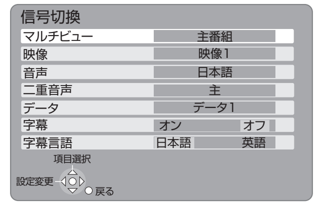
データ放送表示オフ

- 地上デジタル放送視聴時のみ

データ放送の表示を終了します。

信号切換

[▲][▼] で項目を選び、[◀][▶] で設定する



- マルチビューとは、主番組と副番組の複数映像を持った番組です。
- 設定内容が 1 つしかないときは切り換えできません。

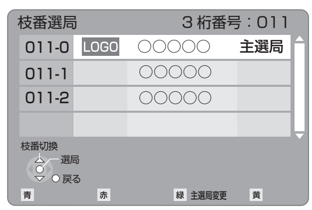
アンテナレベル

アンテナ角度の最適値や本機がテレビ放送を受信しやすい位置を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

枝番選局

枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、3 けたチャンネル番号に追加される番号のことです。
（例：「011-0」、「011-1」、「011-2」）
3 けたチャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。
以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。

[▲][▼] で放送局を選び、[決定] を押す



3 けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには

[▲][▼] で主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

上下左右の黒帯を消して拡大する

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

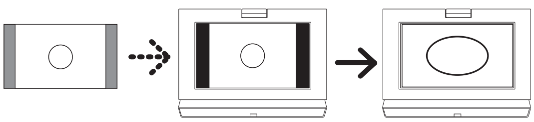
1 サブメニュー(S) **を押す**

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す**

3 **[▲][▼]で「画面モード切換」を選び、(決定) を押す**

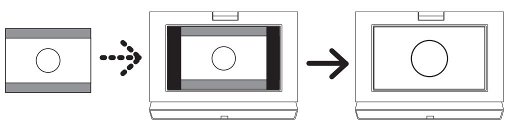
4 **[◀][▶]で画面モードを選ぶ**

▷**ノーマル** ：通常の出力になります。
▷**サイドカット** ：16：9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。



左右に黒帯のある16:9映像	「ノーマル」では左右に黒帯がある状態	「サイドカット」で黒帯部分を消して拡大表示

▷**ズーム** ：4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。



上下に黒帯のある4:3映像	「ノーマル」では額縁表示された状態	「ズーム」で黒帯部分を消して拡大表示

お知らせ

- 黒帯がない映像の場合、左右や上下の映像がカットされますので、お気をつけください。
- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ・ 他のチャンネルを選局
  - ・ 映像の再生を始める、または終了する
  - ・ 電源を切/入する
- BD-V DVD-V 「サイドカット」は効果がありません。
- 外部テレビとの接続時に**初期設定**「TVアスペクト」(➜ 47) を「4:3 パン&スキャン」または「4:3 レターボックス」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。
- ワンセグ視聴時は利用できません。

1 **データ放送のある番組を選局し、(d)データ を押す**

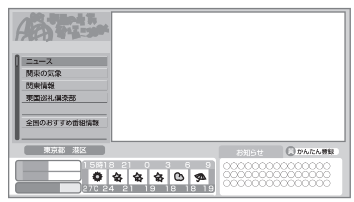
番組内容画面を表示中 (➜ 16)、下記の表示マークのある番組はデータ放送があります。
(表示マークがない番組もあります)

データ　+d テレビ　d テレビ

- 表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

2 **[▲][▼][◀][▶] で見たい項目を選び、(決定) を押す**

例）



- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や数字ボタンで操作してください。
- ネットワーク接続が必要な番組もあります。(➜ 36)

文字を入力するには
➜ 22「文字を入力する」

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

データ画面を消すには
[データ] を押す
- 画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。(➜ 20)

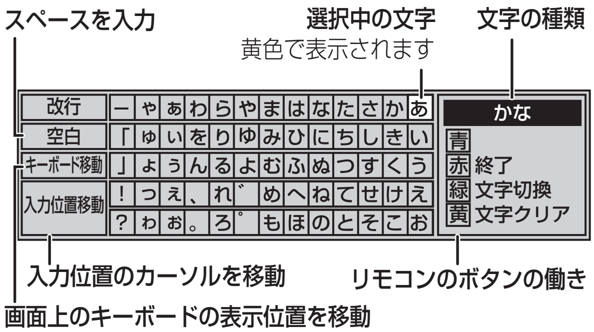
文字を入力する

データ放送の番組などで文字入力を行う画面が表示された場合、文字入力欄にカーソルを移動させると、自動的に画面キーボードを表示します。

- **データ放送の番組の中には、番組独自のキーボードを表示する場合があります。その場合は、画面の指示に従ってください。**

1 [▲][▼][◀][▶] で入力する文字を選び、(決定) を押す

- この手順を繰り返し、文字を入力します。



文字の種類を切り換えるには

[緑] を押す
押すごとに切り換わります。

かな → カナ → 英数

- 漢字を入力するときは、「 かな」を選びます。
- 英数のみの入力のときは、「英数」に固定されます。

ひらがなを確定するには

[赤] を押す

ひらがなを漢字変換するには

[青]を押して[▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す

- [黄]を押すと、入力画面に戻ります。



入力した文字を消すには

[黄] を押す

2 入力が終わったら、(赤) を押す

数字ボタンを使って入力する

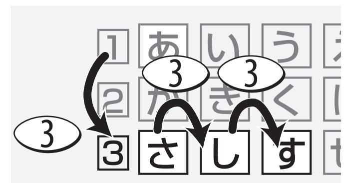
リモコンの数字ボタンを使って入力することができます。

- データ放送視聴時は、この方法で入力することはできません。

例 ：ひらがな「す」を選ぶ場合

① [3] を押す
- 「さ」行に移動します。

② [3] を 2 回押し、[決定] を押す
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。



同じボタンで続けて入力するには

[▶] でカーソルを右に移動させる
例）「あい」と入力する場合：
[1][▶][1][1] の順に押す

いろいろな方法で入力する

■ 文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合：

①「えいが」と入力して、[青] を押す

映画

② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ

えいが

③ [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

映が

■ 記号を入力する

①「きごう」と入力する
② [青] を押して [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

■ 文字を追加する

[◀][▶] でカーソルを移動させたあと、文字を入力する（カーソルの左に文字が追加されます）

■ 文字を消す

[◀][▶] でカーソルを移動させたあと、[黄] を押す（カーソルの文字が削除されます）

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。

再生する

準備

ディスクを入れる。(➜ 13)

1 AV切換 **を押して、「DISC」を選ぶ**

再生が始まります。

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

2 音量 [－] [＋] **を押して、音量を調整する**

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

- 再生が始まらないときは、[▶ 再生] を押してください。
- 続き再生メモリー機能 (➜ 25「停止」) が働いている場合は、停止した位置から再生します。
（BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります）
- +R、+RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。

暗証番号の入力画面が出たときには

設定した暗証番号を入力し、[決定] を押してください。

お知らせ

- **メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。**
- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。
- ２枚組の BD ビデオを再生している場合、１枚目の再生が終了したあとディスクを取り出しても、再生画面が表示され続けることがあります。
- ディスクや SD カードによっては、再生が始まるまで時間がかかることがあります。
- ディスク再生中は回転音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

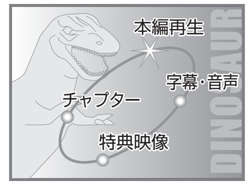
市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

準備

ディスクを入れる。(➜ 13)

1 AV切換 **を押して、「DISC」を選ぶ**

メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。



2 **[▲][▼][◀][▶] で項目を選び、** 決定 **を押す**

メニュー画面を表示させるには

BD-V

再生中：

① [サブメニュー] を押す

② [▲][▼] で「トップメニュー」を選び、[決定] を押す

停止中：[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

DVD-V

[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

- 下記手順で表示することもできます。

① [サブメニュー] を押す

② [▲][▼] で「トップメニュー」を選び、[決定] を押す

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V

再生中：[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

- 下記手順で表示することもできます。

① [サブメニュー] を押す

② [▲][▼] で「ポップアップメニュー」を選び、[決定] を押す

番組を録画したディスクを再生する

準備

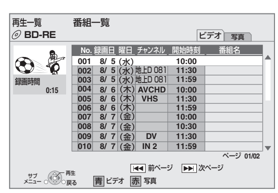
ディスクを入れる。(➜ 13)

1 AV切換 **を押して、「DISC」を選ぶ**

「番組一覧」画面が表示されます。

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

例）BD-RE



2 **[▲][▼][◀][▶] で見たい映像を選び、** 決定 **を押す**

番組一覧画面を表示させるには

[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

テレビ放送

映像

チャプターを再生する

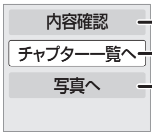
BD-AV **AVCREC** **DVD-VR** チャプターが作成されたディスクを再生することができます。

準備

ディスクを入れる。(➜ 13)

1 **「番組一覧」画面 (➜ 23) 表示中に**

[▲][▼] で映像を選び、(サブメニュー S) を押す



- 内容確認 —— 番組情報 (記録日など) を表示する
- チャプター一覧へ —— チャプターを選ぶ
- 写真へ —— 写真 (JPEG) を再生する (➜ 30)

2 **[▲][▼] で「チャプター一覧へ」を選び、(決定) を押す**



3 **[◀][▶] でチャプターを選び、(決定) を押す**

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

ハイビジョン動画 (AVCHD) や MPEG2、ワンセグ番組を再生する

AVCHD **SD VIDEO**

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影し、ディスクや SD カードに記録されたハイビジョン動画 (AVCHD) や SD カードに記録された動画 (MPEG2)、ワンセグ番組を再生することができます。

準備

ディスクまたは SD カードを入れる (➜ 13)

1 **(AV 切換) を押して、「DISC」または「SD」を選ぶ**

動画または番組の一覧画面が表示されます。

- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

例) 撮影ビデオ (AVCHD) 一覧



2 **[▲][▼][◀][▶] で見たい映像を選び、(決定) を押す**

動画または番組の一覧画面を表示させるには

[再生一覧 / ポップアップメニュー] を押す

お知らせ

- ハイビジョン動画（AVCHD）とハイビジョン画質の映像 (AVCREC) が混在したディスクを再生する場合、ハイビジョン動画を見る場合は**初期設定**「AVCHD 優先モード」を「入」にしてください。(➜ 46)
- **AVCHD** 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- ２倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。

■ 他のメニューから動画メニューに切り換える

（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）

① [スタート] を押す
② [▲][▼] で「メニュー」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」、「撮影ビデオ（MPEG2) を見る」または「録画番組（ワンセグ) を見る」を選び、[決定] を押す

プレイリストを再生する

BD-AV **AVCREC** **DVD-VR** プレイリストが作成されたディスクを再生することができます。

準備

ディスクを入れる。(➜ 13)

1 **(AV 切換) を押して、「DISC」を選ぶ**

2 **(スタート) を押す**

3 **[▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す**

4 **[▲][▼] で「プレイリスト再生」を選び、(決定) を押す**

5 **[▲][▼][◀][▶] でプレイリストを選び、(決定) を押す**

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

再生中のいろいろな操作

停止

停止 [■] を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶します。

[▶ 再生] を押すと、止めた位置から再生します。

- 記憶した位置は、以下の場合は解除されます。
  – [■ 停止] を数回押す
  – ディスクやSDカードを取り出す
  – CD や SD カード再生時に電源を切る
  – 電源「入」時に、停電になったり、AC アダプターが外れたり、バッテリーパックの残量がなくなるなどで電源が切れる
- BD-V BD-J (➜ 61) が含まれる BD ビデオは、続き再生メモリー機能が働きません。

一時停止

一時停止 [❚❚] を押す

もう一度押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。

早送り ・早戻し（サーチ）

スロー / サーチ [◀◀] [▶▶] を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります（5 段階）。

- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。
- BD-AV AVCREC DVD-VR DVD-V
  早送りの 1 速時のみ音声が出ます。
- CD MP3
  速度は 1 段階のみ速くなります。音声は出ません。
- BD-V 早送り・早戻し中は、主映像のみ再生します。
- BD-V AVCHD SD VIDEO 音声は出ません。

スロー再生

一時停止中に

スロー / サーチ [◀◀] [▶▶] を押す

押すごとに速度が速くなります（ 5 段階）。

- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD
  送り方向のみ働きます。
- BD-AV AVCREC DVD-VR
  スロー再生を約 5 分以上続けたときは、一時停止します。
- BD-V スロー再生中は、主映像のみ再生します。
- SD VIDEO スロー再生はできません。

スキップ

再生中または一時停止中に

スキップ [⏮] [⏭] を押す

押した回数だけタイトル、チャプターまたはトラックを飛び越します。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

[◀] または [▶] を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。

- 押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD
  コマ戻しはできません。
- BD-V コマ送り中は、主映像のみ再生します。
- SD VIDEO コマ送り (戻し) はできません。

ダイレクト再生

BD-V DVD-V AVCHD 停止中（下の画面表示中）はタイトルを、再生中はチャプターを再生します。

① ～ ⑩ を押して、タイトルやチャプターの番号を入力する



DVD-V 2 けた入力

例）5：[10]➜[5]、15：[1]➜[5]

BD-V AVCHD 3 けた入力

例）5：[10]➜[10]➜[5]、15：[10]➜[1]➜[5]

AVCHD 撮影ビデオ（AVCHD）一覧が表示されているときは、働きません。

上下左右の黒帯を消して拡大 (➜ 21)

映像

音声の切り換え

1 [サブメニュー] **を押す**

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す**

3 **[▲][▼]で「音声切換」を選び、[決定] を押す**

4 BD-AV AVCREC DVD-VR SD VIDEO
[決定] を押して切り換える

押すごとに、番組の内容によって切り換わります。



BD-V DVD-V

[▲][▼] を押して切り換える



音声チャンネル番号が切り換わり、サウンドトラック言語などを切り換えることができます。
(➜ 右記「言語」)

- BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

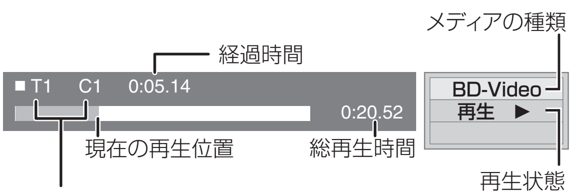
操作状態の表示

操作内容や本機の状態などを確認できます。

1 [サブメニュー] **を押す**

2 **[▲][▼]で「画面表示」を選び、[決定] を押す**
- 表示される内容は再生するディスクやSDカードによって異なります。

例） BD-V



T: タイトル
C: チャプター
PL: プレイリスト

- ディスクの種類または再生状態によっては、表示されないことがあります。

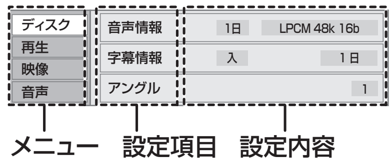
画面表示を消すには

① [サブメニュー] を押す
② [戻る] を押す

信号切換や再生方法の設定などをする

1 **再生中に**
[再生設定] **を押す**
- 下記手順で表示することもできます。
  ① [サブメニュー] を押す
  ② [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
  ③ [▲][▼] で「再生設定」を選び、[決定] を押す

例） DVD-V



ディスクや SD カードにより設定項目は異なります。

2 **[▲][▼] でメニューを選び、[▶] を押す**

3 **[▲][▼] で設定項目を選び、[▶] を押す**

4 **[▲][▼] で設定を変える**

設定を終了するには
[再生設定] を押す

音声属性

LPCM/DDDigital/DDDigital+/DDTrueHD/
DTS-HD MSTR/DTS-HD HI RES/
DTS-HD LBR/DTS/MPEG/AAC：信号タイプ
ch：チャンネル数
k：サンプリング周波数（kHz）
b：ビット数（bit）

言語

日:日本語	英:英語	仏:フランス語
独:ドイツ語	伊:イタリア語	西:スペイン語
蘭:オランダ語	中:中国語	露:ロシア語
韓:韓国語	＊:その他	

映像コーデック

MPEG-2 ：カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で DVD などに使われます。
MPEG-4 AVC
VC-1 ：カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で Blu-ray ディスク などハイビジョン映像の録画に使われます。

ディスク（ディスク独自の機能の設定）

- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

映像情報

AVCHD 情報の表示のみ

音声情報※

- DVD-V AVCHD
  音声や言語の種類を選びます。
  (➜ 26、音声属性 / 言語)
- BD-AV AVCREC DVD-VR SD VIDEO
  音声属性が表示されます。(➜ 26、音声属性)

信号切換

[決定] を押して、さらに設定します。

字幕情報※

- BD-V DVD-V AVCHD
  字幕表示の切/ 入や、言語を選びます。
  (➜ 26、言語)
- AVCREC DVD-VR
  （字幕の入/切 情報が記録されたディスクのみ）
  字幕表示の切/ 入を選びます。

字幕スタイル

BD-V ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

アングル※

BD-V DVD-V アングルを選びます。

※ ディスクに収録されているメニュー画面（➜ 23）でのみ切り換えできるものもあります。

再生（再生方法の設定）

リピート

（経過時間が表示されるときのみ）
- 繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

ランダム

（音楽再生時のみ）
- 順不同に再生します。

映像（お好みの画質の設定）

画質選択

BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V SD VIDEO

再生時の画質を選びます。
- ▷ **ノーマル** :標準
- ▷ **ソフト** :ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▷ **ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▷ **シネマ** :映画鑑賞向け
- ▷ **ユーザー** :さらに画質を調整
  [▶]で「詳細画質設定」を選び、[決定]を押す
  - ・**コントラスト** : 白黒の強弱 (–7 ～ +7)
  - ・**ブライトネス** : 画面全体の明るさ (0 ～ +15)
  - ・**シャープネス** : 鮮やかさ (–6 ～ +6)
  - ・**カラー** : 色の濃さ (–7 ～ +7)
  - ・**ガンマ** : 暗くて見えにくい映像の輪郭 (0 ～ +5)
  - ・3D NR : 背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感を出す (0 ～ +4)
  - ・Integrated NR : モザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見られるもやのようなノイズを除去 (0 ～ +3)

プログレッシブ（➜ 61）

DVD ビデオを再生する場合に、プログレッシブ映像の最適な表示方法を選びます。
- ▷ Auto（標準）: フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換
- ▷ Video :「 Auto 」でぶれが生じるとき

音声（お好みの音声効果の設定）

シネマボイス

BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V SD VIDEO

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを 2 倍に大きくしてセリフを聞き取りやすくします。

映像

BONUSVIEW や BD-Live 対応の BD ビデオを楽しむ

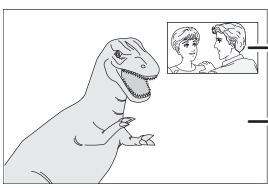
本機は、BD ビデオの新しい再生機能である BONUSVIEW™ （BD-ROM Profile 1 version 1.1/ Final Standard Profile) や BD-Live（BD-ROM Profile 2）に対応しています。

- BONUSVIEW™ 対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。
- BD-Live 対応ディスクでは、BONUSVIEW™ の機能に加え、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
  ブロードバンド環境でのご使用をおすすめします。

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。ディスクに添付の説明書をご覧いただきお楽しみください。

副映像のあるディスクを楽しむ

例）



- 副映像の音声を出力する場合、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」(➜ 46) を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

再生設定「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。(➜ 27)

お知らせ

ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、追加コンテンツをダウンロードする必要があります。本機では SD カードにダウンロードします。

- 1 GB 以上の残量がある SD カード（SD スピードクラスの CLASS 2以上）をお使いください。
- インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントを取得する必要がある場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。

準備

- ネットワーク接続と設定をする (➜ 36、38 ～ 40)
- **初期設定**「BD-Live インターネット接続」(➜ 46) を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する

1 SD カードを入れる (➜ 13)

- SD カードのメニュー画面が表示される場合は、[**戻る**] を押して画面を消してください。
- 本機で SD カードのフォーマット (➜ **下記**) をすることをおすすめします。

2 ディスクを入れる

3 AV切換 を押して、「DISC」を選ぶ

- 再生方法については、ディスクの説明書をご覧ください。

お知らせ

- 再生が終了するまでSDカードを抜かないでください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、本機やディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。インターネットへの接続を制限することができます。(➜ 46)
- 映像を SD カードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。またダウンロードが済んでいない部分へのスキップができないなど、一部の機能が使えないことがあります。

■ SD カードをフォーマットする / データを消去する

SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、データ消去または SD カードをフォーマットすることができます。フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。

① SD カードを入れる (➜ 13)
② [**AV 切換**] を押して「SD」を選ぶ
③ [**スタート**] を押す
④ [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[**決定**] を押す
⑤ [▲][▼] で「カード管理」を選び、[**決定**] を押す
⑥ [▲][▼] で「ＢＤ ビデオデータ消去」または「カードのフォーマット」を選び、[**決定**] を押す
⑦ [◀][▶] で「はい」を選び、[**決定**] を押す
⑧ [◀][▶] で「実行」を選び、[**決定**] を押す

音楽を再生する

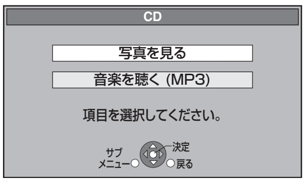
CD **MP3**
音楽 CD や MP3 が記録された CD-R/RW または DVD-R/R DL を再生することができます。

準備
ディスクを入れる (➜ 13)

1 AV切換 を押して、「DISC」を選ぶ

「曲一覧」画面が表示されます。
- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で「音楽を聴く（MP3)」を選び、[決定] を押してください。

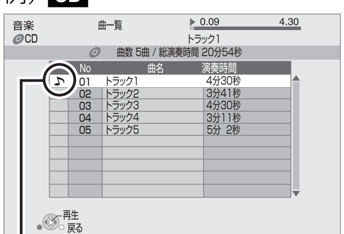
例）**CD**



2 [▲][▼] で曲を選び、決定 を押す

選んだ曲から再生を開始します。
- 自動的に再生が始まるディスクもあります。

例）**CD**



「♪」は現在再生中の曲を示しています。

3 音量 [－] [＋] を押して、音量を調整する

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

ヒント

早送り・早戻しまたは、スキップ機能も使用することができます。(➜ 25)

■ 他のメニューから MP3 メニューに切り換える

（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）

① [スタート] を押す
② [▲][▼] で「メニュー」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で「音楽を聴く（MP3)」を選び、[決定] を押す

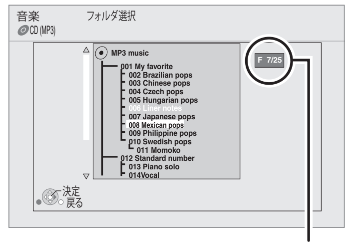
別のフォルダの曲を再生する

- 本機で表示されるフォルダ構造例 ➜ 51

MP3

1 「曲一覧」画面を表示中に サブメニュー(S) を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す



選んだフォルダ番号 / 総フォルダ数
フォルダに曲が含まれていない場合、
フォルダ番号は「– –」と表示されます。

3 [▲][▼] でフォルダを選び、決定 を押す

選んだフォルダの「曲一覧」が表示されます。

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

お知らせ

再生できる MP3 が入っていないフォルダは選べません。

映像
音楽

写真（JPEG）を再生する

写真（JPEG）が記録された BD-RE、DVD-RAM、DVD-R/D DL、CD-R/RW および SD カード を再生することができます。

準備

ディスク、SD カードを入れる (➜ 13)

1 AV切換 **を押して、「DISC」または「SD」を選ぶ**

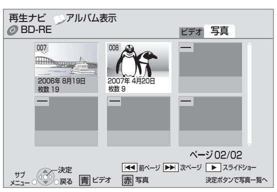
- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲][▼] で「写真を見る」を選び、[決定] を押してください。

◇ BD-RE、DVD-RAM

「アルバム表示」画面が表示されます。

- 「番組一覧」画面が表示されている場合は、[赤] を押して「アルバム表示」画面に切り換えます。

例）BD-RE



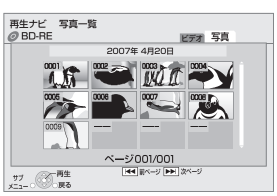
◇ DVD-R/R DL、CD-R/RW、SD カード

「写真一覧」画面が表示されます。➜ 手順 3 へ

2 [▲][▼][◀][▶] でアルバムを選び、決定 を押す

3 [▲][▼][◀][▶] で写真を選び、決定 を押す

例）BD-RE



再生中に前後の写真を見るには

[◀][▶] を押す

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

お知らせ

- JPEG 以外の写真は再生できません。
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯が表示される場合があります。

■ 他のメニューから写真 (JPEG) メニューに切り換える

（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）

① [スタート] を押す
② [▲][▼] で「メニュー」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で「写真を見る」を選び、[決定] を押す

写真再生のいろいろな機能

別のフォルダにある写真（JPEG）を選ぶ

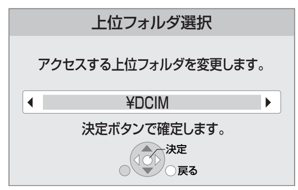
- 本機で表示されるフォルダ構造例 ➜ 51

◇ BD-RE、DVD-RAM

- 「アルバム表示」画面を表示時に、上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ

1 「アルバム表示」画面を表示中に サブメニュー を押す

2 [▲][▼] で「上位フォルダ選択」を選び、決定 を押す



3 [◀][▶] でフォルダを選び、決定 を押す

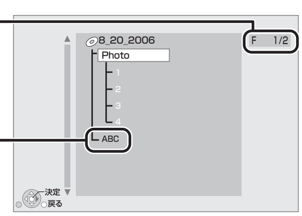
◇ DVD-R/R DL、CD-R/RW

1 「写真一覧」画面を表示中に サブメニュー を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼][◀][▶] でフォルダを選び、決定 を押す

F：フォルダ番号 / 総フォルダ数



再生できる写真 (JPEG) が入っていないフォルダ

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

写真を連続して再生する（スライドショー）

◇ BD-RE、DVD-RAM

1 **「アルバム表示」画面を表示中に**

[▲][▼][◀][▶] でアルバムを選び、

サブメニュー(S) を押す

- [サブメニュー] の代わりに [▶ 再生] を押してもスライドショー再生が始まります。

2 **[▲][▼] で「スライドショー開始」を選び、(決定) を押す**

◇ DVD-R/R DL、CD-R/RW、SD カード

1 **「写真一覧」画面を表示中に**

サブメニュー(S) を押す

2 **[▲][▼] で「スライドショー開始」を選び、(決定) を押す**

スライドショーを終了するには

[■ 停止] を押す

スライドショーの設定を変更する

上記手順 1 のあと

2 **[▲][▼] で「スライドショー設定」を選び、(決定) を押す**

3 **[▲][▼] で設定する項目を選ぶ**
(→ 下記へ)

4 **設定終了後、[▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、(決定) を押す**

表示間隔

[◀][▶] で表示間隔を選ぶ

- 画素数が大きい写真は、次の写真表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。

表示変化

スライドショー再生中の写真の切り換わりかたを設定します。

[◀][▶] で表示方法を選ぶ

▷**フェード**	:フェードインしながら写真を表示し、フェードアウトして次の写真に切り換えます。
▷**モーション**	:写真を拡大･縮小したり、上下に移動しながら、フェードアウト･フェードインして切り換わります。
▷**ランダム**	:「モーション」に加えて、さまざまな方法で次の写真に切り換わります。

リピート再生

スライドショーを繰り返します。

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

BGM (SD カードのみ)

スライドショー再生中、音楽 CD を BGM として流すことができます。

[◀][▶] で「入」または「切」を選ぶ

- 再生中の音楽 CD を早送り・早戻しまたは、スキップすることはできません。
- スライドショーが終了すると、再生中の音楽 CD も停止します。

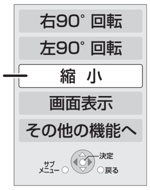
写真 (JPEG) を回転・縮小する

- スライドショー再生中はできません

1 **写真を再生中に**

サブメニュー(S) を押す

2 **[▲][▼] で項目を選び、(決定) を押す**



画素数の小さい写真を表示しているときのみ

回転を元に戻すには

[サブメニュー] を押して逆方向の回転を選び、[決定] を押す

縮小を元に戻すには

[サブメニュー] を押して「拡大」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 回転の設定は、本機の電源を切るか SD カードを取り出すまで保持されます。
- 縮小の設定は保持されません。

写真 (JPEG) 情報の表示

1 **写真を再生中に**

サブメニュー(S) を押す

2 **[▲][▼] で「画面表示」を選び、(決定) を押す**

例) CD

撮影日	2009/ 4/ 1	枚数	1/10

情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

画面表示を消すには

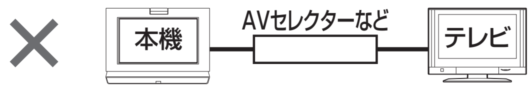
① [サブメニュー] を押す
② [戻る] を押す

写真

他の機器と接続する

本機の映像や音声をテレビやアンプで楽しんだり、ビデオなどからの映像を本機の液晶画面で楽しむことができます。

- **接続前に、全ての機器の電源を切り、それぞれの機器の説明書もよくお読みください。**
- 本機とテレビの間に、他のビデオやセレクターを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。



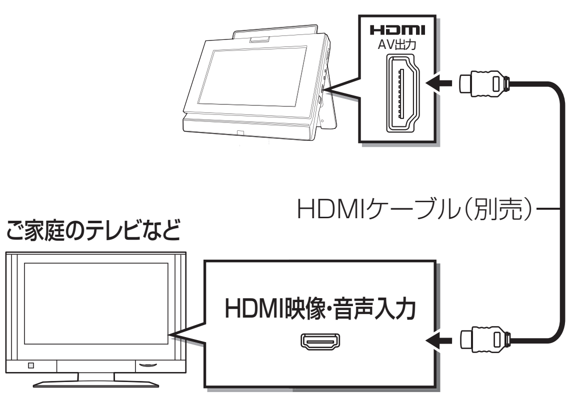
HDMI ケーブルで接続する

ご家庭のテレビなどと接続すると、本機の高画質、高音質の映像と音声をケーブル 1 本で大画面で楽しむことができます。

- **ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）やアンプと接続すると、連動操作が可能になります。（➜34）**
- **HDMI ケーブルは 、HDMI ロゴ (➜ 表紙) のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。**
- **当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。**
  品番：
  RP-CDHG10（1.0 m）、RP-CDHG15（1.5 m）、RP-CDHG20（2.0 m）、RP-CDHG30（3.0 m）など

準備

本機に機器を接続する



- HDMI 対応マルチチャンネルアンプに接続すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD および DTS-HD の高音質をサラウンドで楽しむことができます。（➜ 49）
  （それぞれの音声に対応したアンプ接続時のみ）

1 接続した機器側（テレビなど）の電源を入れ、入力を切り換える

例：入力切換を「 HDMI 」などにする（接続した機器によっては入力表示名が変わる場合があります）

2 本機で再生を始める

接続した機器に映像や音声が出ます

お知らせ

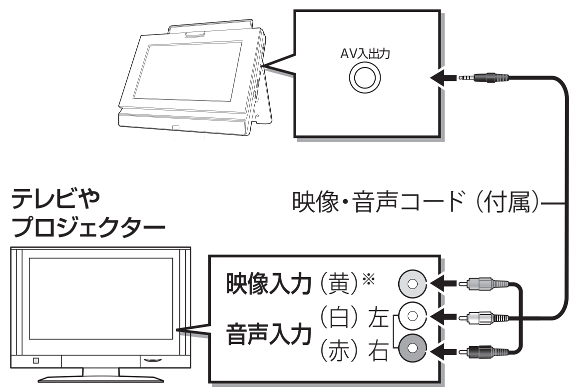
- HDMI 接続時、本機の画面では映像の画質が低下しますが、異常ではありません。

映像・音声コードで接続する

他の機器で映像や音声を楽しむ

準備

本機にテレビやプロジェクターを接続する



※　アンプなどと接続する場合、映像・音声コード (付属) の映像入力（黄）プラグは使用しません。

1 接続した機器側の電源を入れ、入力を切り換える

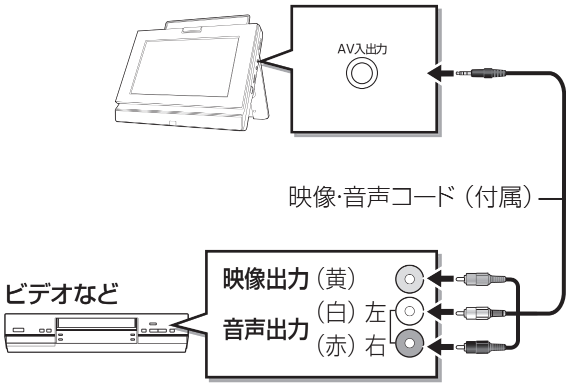
例：入力切換を「ビデオ 2 」などにする（接続した機器によっては入力表示名が変わる場合があります）

2 本機で再生を始める

ビデオなどの映像や音声を本機で楽しむ

準備

本機にビデオなどを接続する



1 AV切換 **を押して「AUX」を選ぶ**

2 **ビデオなどで再生を始める**

- **初期設定**「無操作電源 [切]」(➜ 48) は働きません。続けて再生しないときは、電源を切ってください。

お知らせ

- 映像・音声コード（付属）は本機専用です。
  他の機器に使用すると映像・音声が正常に再生されない場合があります。
- 本機の再生時に接続したテレビ側で音量を上げると、テレビ放送に切り換えたときに大きな音が出ることがあります。切り換える前に接続したテレビの音量を元に戻してください。
- 本機で受信したテレビ放送は、接続したテレビでも楽しめます。ただし、放送内容によっては、出力できない場合があります。

■ 液晶画面の映像を調整する

① [AV 切換] を押して「AUX」を選ぶ
② [LCD] を押す
③ [▲][▼] で項目を選ぶ (➜ 下記へ)
④ [▲][▼][◀][▶] で設定を変える

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

PICTURE：画質の調整
▷STANDARD (スタンダード) : 標準
▷DYNAMIC (ダイナミック) :
明暗がはっきりした画質
▷NIGHT (ナイト) :
暗い場所での使用に適した画質
▷USER (ユーザー)
·BRIGHT (明るさ) (− 5 ～ 5)
·COLOR (色の濃さ) (− 5 ～ 5)

MONITOR：映像の表示
▷NORMAL ：4:3 の映像を見たいとき
▷FULL ：16:9 の映像を見たいとき
▷OFF ：映像なし

- カッコ内の表示は、[AV 切換] で「AUX」以外を選択時の表示です。(➜ 12)
  「AUX」以外を選択時に設定を変更した場合、上記の設定も同様に変更されます。

「MONITOR」を「OFF」から「NORMAL」に切り換えるには

[LCD] または [サブメニュー] を押す

設定を終了するには

[LCD] または [戻る] を押す

接続

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

- 本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。ビエラリンク (HDMI)Ver.4 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。
  (2008 年 12 月現在)

ビエラリンク (HDMI) を設定する

準備

HDMI ケーブルで本機に機器を接続する (➜ 32)

1 本機側の初期設定「ビエラリンク制御」（➜ 47）を「入」にする（お買い上げ時の設定は「入」）

2 接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する

- 設定方法などは接続した機器の取扱説明書をお読みください。

3 すべての機器の電源を入れ、接続した機器の電源を一度切/入したあと、接続した機器の入力を「HDMI入力」に切り換える

- **接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください**

ビエラリンク (HDMI) を使わない場合は

初期設定「ビエラリンク制御」(➜ 47) を「切」にする

ヒント

- お使いのテレビやアンプがビエラリンク (HDMI) 対応かわからないときは、機器にビエラリンク (HDMI) のロゴマーク (➜ **下記**) が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

- ビエラリンク (HDMI) が働かなくなった場合は、設定を確かめてください。
  (➜ 59「ビエラリンク (HDMI) が働かない」)

ビエラリンク (HDMI) のいろいろな機能

自動的に接続したテレビの電源を入れ、入力を切り換える

下記の操作を行うと、接続したテレビの入力チャンネルが自動的に切り換わり、本機の画面が表示されます。

– 本機で再生を開始したとき
– メニュー画面が表示される操作を行ったとき
 (**[スタート]** や **[再生一覧]** を押したときなど)
– 本機の電源「入」状態で HDMI ケーブルを接続したとき (初回のみ)

- 接続したテレビの電源が待機状態のときに上記の操作を行うと、接続したテレビの電源も自動的に「入」になり、それぞれの画面が表示されます。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)

- 再生を始めた場合、テレビ画面が表示されるまで、再生した映像の先頭部分が見られない場合があります。その場合は、[|◀◀] または [◀◀] を押して再生開始位置まで戻ってください。

自動的に本機の電源を切る

接続したテレビの電源を「切」にすると、接続されているビエラリンク (HDMI) 対応の機器は本機を含めすべて自動的に電源が「切」になります。

- 本機を操作中であっても、自動的に電源が「切」になります。

■ テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビとアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビの電源を切ると本機の電源も切れます。ただし、接続したテレビがビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降対応の場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

① 音楽再生中に、**[サブメニュー]** を押す
② **[▲][▼]** で「TV のみ電源 OFF」を選び、**[決定]** を押す

- テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。
- テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、テレビから音声が出なくなりますので、操作をする前にあらかじめアンプ側から音声が出るようにしてください。

テレビの電源は入れたまま、本機の電源のみ切るには

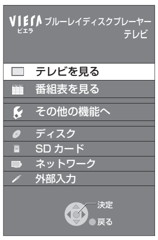
本機のリモコンの **[電源]** を押して、本機の電源を切る

接続したテレビのリモコンで本機を操作する

ビエラリンク (HDMI) に対応したテレビ（ビエラ）と接続している場合は、テレビのリモコンの以下のボタンで本機の操作ができます。

[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブメニュー]と色ボタン

- 数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用してください。
- ビエラリンク（HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、“プレーヤー”の項目を選択後、本機のスタート画面を表示することができます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。



- ACアダプターで本機を使用している場合は、上記の操作で本機の電源も入ります。

お知らせ

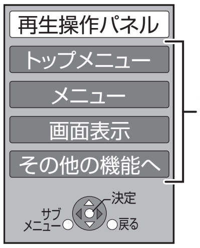
- 本機の画面を外側に向けて閉じた状態にしておいてください。**(➜ 10「本機を設置する」③、④の状態)** それ以外の状態では、テレビのリモコンで本機を操作することはできません。
- バッテリーパックのみで本機を使用している場合は、本機の電源を入れてから操作してください。**(➜ 12)**

■「再生操作パネル」を使って操作する

「再生操作パネル」表示中は接続したテレビのリモコンで早送り・早戻し（サーチ）、停止などの操作ができます。

① **[サブメニュー]** を押す

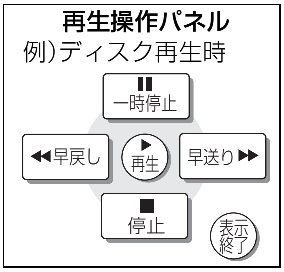
例



本機のサブメニューが表示されます。

② **[▲][▼]** で「再生操作パネル」を選び 、**[決定]** を押す

「再生操作パネル」が表示されます。



- **[▲][▼][◀][▶][決定][戻る]**で操作することができます。

お知らせ

- BD ビデオまたは DVD ビデオのトップメニュー表示中は、**[サブメニュー]** を押しても働きません。
- 音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。

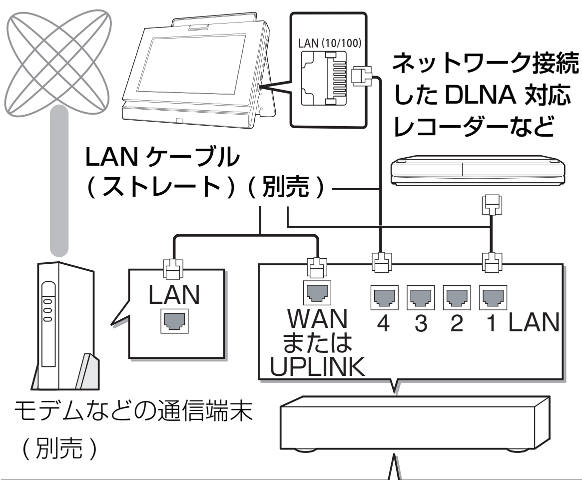
音楽の再生を止めるには

[戻る] を数回押す

ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや、機能を利用することができます。

- 最新のファームウェアをダウンロードする (➜ 37)
- BD-Live 対応のディスクを楽しむ (➜ 28)
- ネットワーク接続している機器の映像を楽しむ（2009 年 1 月現在）(➜ 41)
- インターネットに接続して動画を楽しむ (➜ 40)
- データ放送を楽しむ (➜ 21)



ハブまたはブロードバンドルーター (別売)

- 通信端末（モデムなど）にブロードバンドルーター機能がない場合：
  ブロードバンドルーターを接続する。
  通信端末（モデムなど）にブロードバンドルーター機能はあるが、モデムポートに空きがない場合：ハブを接続する。
- 10BASE-T/100BASE-TX 対応のものをお使いください。
- ルーターの DHCP サーバー機能は「有効」(IP アドレスを自動的に割り当てる設定）をおすすめします。通常は「有効」に設定されています。

接続後、ネットワークの設定と、連携する機器の設定を行ってください。(➜ 38 ～ 40)

ルーターの設定などで本機の「MAC アドレス」を確認するには

初期設定「ネットワーク通信設定」で確認してください。(➜ 38)

お知らせ

- シールド付き LAN ケーブルを使用してください。
- ハブやルーターを経由せず、本機と DLNA 対応の当社製レコーダーを直接接続することもできます。
  LAN ケーブルはクロスケーブルをお使いください。
- ブロードバンド環境が必要です。
- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をおすすめします。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- テレビでネット (➜ 40) 使用時は、標準画質の場合 1.5 Mbps 以上を、ハイビジョン画質の場合は 6 Mbps の高速インターネットサービスをお使いください。
  – 低速のインターネットサービスをお使いの場合、映像が正しく表示されない場合があります。

■ 接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 無線 LAN をお使いの場合は、無線 LAN 機器の説明書に従って適切なセキュリティー設定を行ってください。
- 使用する機器や接続環境などによってはインターネットにつながらなかったり、正常に動作しないことがあります。

■ インターネットとの接続について

数年間インターネットに接続していない場合、インターネットに接続できないことがあります。

■ 免責事項について

当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。

動作確認済みの機器や環境については、ホームページにて順次ご案内いたします。
詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

ファームウェアの更新

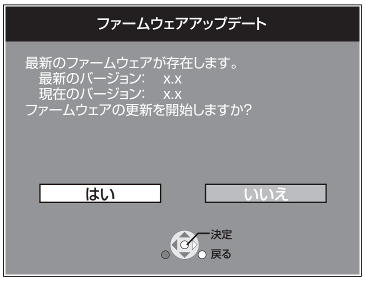
本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的に本機のファームウェアが最新かどうかの確認をすることができます。

- AC アダプター接続時のみ (➜ 11)

準備

- ネットワーク接続をする。(➜ 36)
- **初期設定**「ファームウェアの自動更新確認」を「入」に設定する (お買い上げ時の設定は「入」)。(➜ 48)

最新のファームウェアになっていない場合、下記の画面が表示されます。

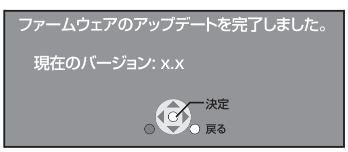


[◀][▶] で「はい」を選び、(決定) を押す

画面の指示に従って操作してください。
最新ファームウェアのダウンロード終了後、自動的に更新が始まります。

- 「いいえ」を選んだ場合、あとから手動で更新してください。
  (➜ 右記、「手動でファームウェアを更新する」)

ファームウェアの更新が完了すると、本機が再起動され、下記の画面が表示されます。



- ファームウェアの更新中は他の操作はできません。
  また、故障の原因となりますので、以下の操作は行わないでください。
  – 本機の電源を切る
  – 電源プラグをコンセントから抜く
  – ディスクぶたを開ける

お知らせ

- ファームウェアの更新に失敗した場合や本機がインターネットに接続されていない場合は、下記の WEB ページから最新のファームウェアをパソコンにダウンロードすることができます。
  CD-R などにコピーした後、本機に入れることでファームウェアを更新することができます。
  http://panasonic.co.jp/cs/av/

ヒント

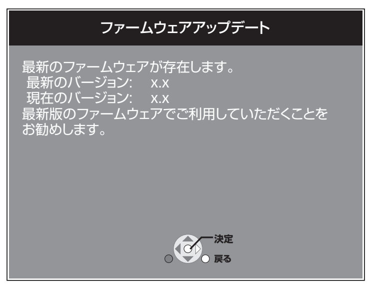
本機の電源を入れたときに最新のファームウェアかどうかの確認を行わない場合は、**初期設定**「ファームウェアの自動更新確認」(➜ 48) を「切」に設定してください。

■ 手動でファームウェアを更新する

最新のファームウェアの更新を行わなかった場合、スタート画面 (➜ 13) が表示されているときに、下記のメッセージが表示されます。

> 初期設定からファームウェアの
> アップデートを行ってください。

① [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] で「初期設定」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] を押して「設置」を選び、[決定] を押す
④ [▲][▼] を押して「ファームウェア アップデート」を選び、[決定] を押す
⑤ [▲][▼] を押して「ファームウェアアップデートの実行」を選び、[決定] を押す
⑥ [◀][▶] を押して「はい」を選び、[決定] を押す



上記の画面が表示された場合、[決定] を押すと最新ファームウェアのダウンロードが始まります。

ネットワークの設定をする

本機をネットワークに接続してお使いになるための設定です。

準備

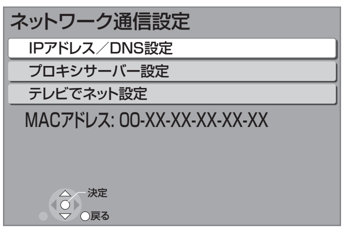
ネットワーク接続をする。(➜ 36)

1 (スタート) **を押す**

2 **[▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す**

3 **[▲][▼] で「初期設定」を選び、(決定) を押す**

4 **[▲][▼] で「ネットワーク通信設定」を選び、(決定) を押す**



5 **[▲][▼] で設定項目を選び、(決定) を押す**

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 **[▲][▼][◀][▶] で設定内容を選び、(決定) を押す**

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

お知らせ

- 操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

ヒント

- 接続テストが失敗する場合、ルーター側で本機の MAC アドレスを設定する必要があります。MAC アドレスは手順4の画面で表示されます。



IP アドレス /DNS 設定の接続状態を確認する

LAN ケーブルで接続したあとに必ず行ってください。

左記手順 4 のあと

5 **[▲][▼] で「IP アドレス /DNS 設定」を選び、(決定) を押す**

6 **[▲][▼] で「接続テスト」を選び、(決定) を押す**

テスト中　：テスト中
OK　：ネットワーク関連機能が使用できる状態です。
宅内機器使用可：
ネットワーク関連機能のうち、「ビエラリンク (LAN)」(➜ 41) のみ使用できる状態です。インターネットを使った BD-Live 機能 (➜ 28)、ファームウェアアップデート (➜ 37)、「テレビでネット」(➜ 40) は使用できません。
NG　：接続と設定を確認してください。

お知らせ

- 「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を変更した場合にもテストを行ってください。

IP アドレスを設定する

通常は設定する必要はありません。

(ブロードバンドルーターやルーター機能を内蔵した通信端末をお使いの場合、通常ルーターが自動で割り当てます。)
ルーターに DHCP サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能 (➜ 62) を「有効」にしていないときのみ設定してください。

左記手順 4 のあと

5 **[▲][▼] で「IP アドレス /DNS 設定」を選び、(決定) を押す**

6 **[▲][▼] で「IP アドレス自動取得」を選び、[◀][▶] で「切」を選ぶ**

- 通常は「入」を選んでおいてください。
- 「切」を選んだ場合、「DNS-IP 自動取得」(➜ 39) も自動的に「切」になります。

7 **[▲][▼] で「IP アドレス設定」、「サブネットマスク設定」、「ゲートウェイアドレス設定」をそれぞれ選び、(決定) を押す**

8 ブロードバンドルーターの仕様を確認し、それぞれの項目を画面の指示に従って、①～⑩で入力し、（決定）を押す

- 入力した文字を取り消すには、[11] を押してください。

9 それぞれの登録画面で [◀][▶] で「はい」を選び、（決定）を押す

お知らせ

- パソコンを確認して、「IP アドレス設定」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク設定」、「ゲートウェイアドレス設定」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。
- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。
- 0 ～ 255 以外の数値を入力するとエラーになります。

DNS の IP アドレスを設定する

通常は設定する必要はありません。
手動で「プライマリ DNS 設定」、「セカンダリ DNS 設定」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

38 ページ手順 4 のあと

5 [▲][▼] で「IP アドレス /DNS 設定」を選び、（決定）を押す

6 [▲][▼] で「DNS-IP 自動取得」を選び、[◀][▶] で「切」を選ぶ

- 通常は「入」を選んでおいてください。

7 [▲][▼] で「プライマリ DNS 設定」、「セカンダリ DNS 設定」をそれぞれ選び、（決定）を押す

8 プロバイダーから指示された IP アドレスを、画面の指示に従って、①～⑩でそれぞれ入力し、（決定）を押す

- 入力した文字を取り消すには、[11] を押してください。

9 それぞれの登録画面で [◀][▶] で「はい」を選び、（決定）を押す

お知らせ

- パソコンを確認して、「プライマリ DNS 設定」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS 設定」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。
- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。
- 0 ～ 255 以外の数値を入力するとエラーになります。

接続速度の設定をする

通常は設定する必要はありません。
IP アドレス設定、DNS-IP 設定のあと、接続テストを行って「NG」の場合に設定してください。

38 ページ手順 4 のあと

5 [▲][▼] で「IP アドレス /DNS 設定」を選び、（決定）を押す

6 [▲][▼] で「接続速度自動設定」を選び、[◀][▶] で [切] を選ぶ

7 [▲][▼] で「接続速度設定」を選ぶ

8 [◀][▶] で接続速度（「10BASE 半二重」、「10BASE 全二重」、「100BASE 半二重」、「100BASE 全二重」）を設定する

お知らせ

- 接続速度は、接続するネットワークの環境に合わせて選んでください。
- 設定を変えた場合、機器によっては接続速度が遅くなったり、接続できなくなることがあります。

プロキシサーバーの設定をする

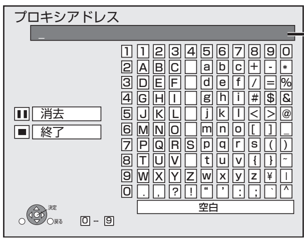
通常は設定する必要はありません。
ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。
デジタル放送では、ブロードバンドを利用して、番組以外のさまざまな情報（通信コンテンツ）を配信するサービスが一部開始されています。このようなサービスを利用する際に必要な設定です。

38 ページ手順 4 のあと

5 [▲][▼] で「プロキシサーバー設定」を選び、（決定）を押す

6 [▲][▼] で「プロキシアドレス」を選び、（決定）を押す

- 文字入力画面が表示されます。



確定文字表示欄:
確定後の文字

次ページへ

ネットワーク

7 [▲][▼][◀][▶] で入力する文字を選び、(決定) を押す

- この手順を繰り返し、文字を入力します。

数字ボタンで入力するには

➜ 22

文字を消すには

[❚❚ 一時停止] を押す

8 停止(■)を押す

9 [▲][▼] で「プロキシポート番号」を選び、(決定) を押す

10 (1) 〜 (10/0) でプロキシポート番号を入力し、(決定) を押す

- 入力した文字を取り消すには、[11] を押してください。

11 [◀][▶] で「はい」を選び、(決定) を押す

お買い上げ時の設定に戻すには

① 手順 6 で「標準に戻す」を選び、[決定] を押す
② [◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

プロキシサーバー設定の接続状態を確認する

新しくプロキシサーバーを設定した場合は、必ず実行してください。

38 ページ手順 4 のあと

5 [▲][▼] で「プロキシサーバー設定」を選び、(決定) を押す

6 [▲][▼] で「接続テスト」を選び、(決定) を押す

テスト中　：テスト中
OK　　　：接続完了
NG　　　：接続と設定を確認してください。

インターネットを楽しむ

本機をインターネットに接続して動画共有サイトのサービスを楽しむことができます。

> **動画共有サイトのサービス**
> - 動画共有サイトのサービスで利用できるサービスの内容や利用条件については、別途ポータルサイトにてご確認ください。

準備

ネットワーク接続と設定をする。(➜ 36、38 〜 40)

1 AV 切換 を押して「 NETWORK 」を選ぶ

2 [▲][▼] で「テレビでネット」を選び、(決定) を押す

- 「テレビでネット」のポータルサイト画面が表示されます。

3 動画共有サイトの項目を選び、(決定) を押す

- 操作方法は画面の指示に従ってください。

音量を調整するには

[音量 − ,+] を押す

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

動画共有サイトのサービスを終了するには

[AV 切換] を押す

音声がひずむ場合は

「テレビでネット自動音量調整」を「切」に設定してください。(➜ 47)

コンテンツを全画面で表示したい場合は

「テレビでネット画面の縮小表示」を「切」に設定してください。(➜ 47)

ファームウェアの更新のお知らせが画面上に表示された場合は

ファームウェアを更新してください。(➜ 37)
更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。

別の部屋の機器の映像を見る

ネットワーク接続している当社製 DLNA 対応レコーダー (ディーガ) に保存されている映像などを楽しむことができます。

当社製対応機器のご紹介（2009 年 1 月現在）
ブルーレイディスクレコーダー
DMR-BW950/DMR-BW930/DMR-BW850/
DMR-BW830/DMR-BW750/DMR-BW730

- ネットワーク接続している機器の操作は、それぞれの説明書をご覧ください。

ネットワーク接続している機器を使って本機を登録設定する

1 ネットワーク接続と設定をする (➜ 36、38 ～ 40)

2 ネットワーク接続している機器を使って本機を登録設定する

詳しくはネットワーク接続している機器の説明書をご覧ください。

当社製 DLNA 対応レコーダー (ディーガ) と接続している場合

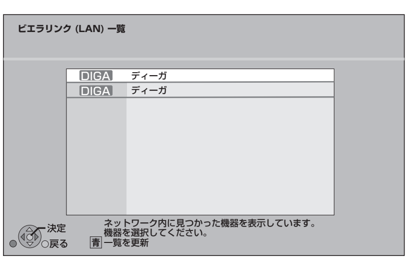
ビエラリンク (LAN) 設定を行ってください。
登録する機器の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記手順 1 ～ 3 の操作を行ってください。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機でネットワーク接続している機器の映像を見る

1 AV切換 を押して「NETWORK」を選ぶ

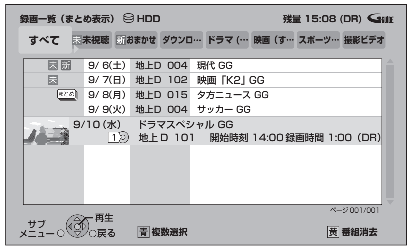
2 [▲][▼] で「ビエラリンク (LAN)」を選び、決定 を押す

ネットワーク接続している機器の一覧が表示されます。



3 [▲][▼] でネットワーク接続している機器を選び、決定 を押す

- 当社製 DLNA 対応レコーダー(ディーガ) を選んだ場合、ディーガの HDD(ハードディスク) に保存されている映像の一覧が表示されます。
（表示例：DMR-BW950 の場合）



4 [▲][▼][◀][▶] で再生する映像を選び、決定 を押す

音量を調整するには

[音量 − ,+] を押す

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

音声を切り換えるには

再生中に [**再生設定**] を押す

例）

AUDIO CHANGE
AUDIO 1 LR

押すたびに切り換わります。

- 画面の表示と実際の働きは、再生する映像によって異なります。

お知らせ

- 当社製 DLNA 対応レコーダー(ディーガ) に挿入しているディスクや、写真や音楽を再生することはできません。
- 本機とネットワーク接続している機器間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。
- 接続した機器から本機を再生することはできません。

ヒント

- 接続した機器によっては、「再生操作パネル」を使って操作することができます。(➜ 35)
- 当社製 DLNA 対応レコーダー (ディーガ) と接続している場合、**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」を「オン」にすると、字幕を表示することができます。(➜ 43)

放送設定を変える（放送設定）

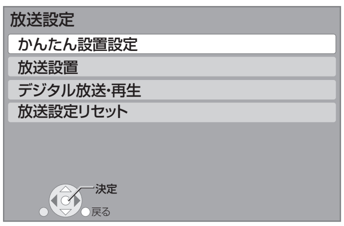
必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

1 AV切換 **を押して、「TV」を選ぶ**

2 サブメニュー S **を押す**

3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]で「放送設定」を選び、決定 を押す



5 [▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す

6 [▲][▼]で設定項目を選び、決定 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

7 [▲][▼][◀][▶]で設定内容を変更する

前の画面に戻るには

［戻る］を押す

画面を消すには

［戻る］を数回押す

お知らせ

- 操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

かんたん設置設定

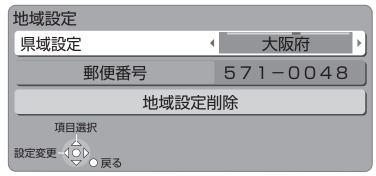
➜ 14

放送設置

チャンネル設定

➜ 44

地域設定



県域設定

- お住まいの都道府県を設定します。
- 伊豆、小笠原諸島地域は ➜「東京都島部」
- 南西諸島鹿児島県地域は ➜「鹿児島県島部」

郵便番号

リモコンの [1] ～ [10] でお住まいの地域の郵便番号を入力します

番号を間違えたときは

［黄］を押す

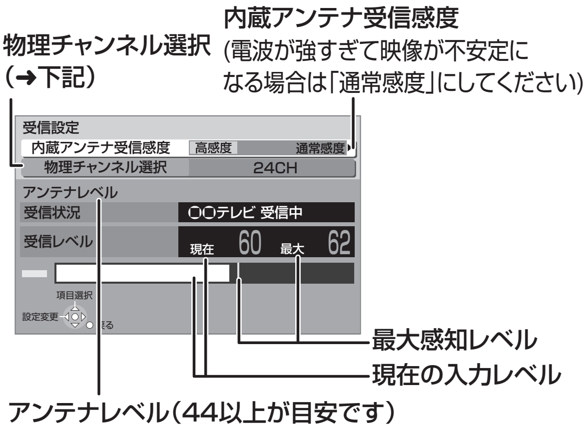
地域設定削除

「はい」を選ぶと、設定をお買い上げ時の状態に戻します。

受信設定

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの角度や本機の位置を変えてください。

- 入力レベルは、天候、季節、地域などによって異なります。
- 外部アンテナ接続時 (➜ 14) は、アンテナの説明書をご覧ください。



物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており (13 CH ～ 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- アンテナレベルはチャンネルによって異なります。上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、**[決定]** を押し、**[1]** ～ **[10]** で物理チャンネルを入力し、**[決定]** を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。
- ワンセグ放送視聴時でも、上記画面表示中は、テレビ放送の画面は地上デジタル放送の映像・音声に切り換わります。

B-CAS カードテスト

B-CAS カードの動作を確認します。

テスト中 ：テスト中
「OK」 ：正しく動作しています。
「NG」 ：電源を切り、AC アダプターを外したあと、B-CAS カードを抜き差しして、もう一度 B-CAS カードテストを行ってください。

デジタル放送・再生

字幕の設定

デジタル放送の字幕や、文字スーパー (番組からのお知らせ) などを表示させるための設定です。



- 放送に設定した内容が含まれていない場合は設定通りに表示されません。
- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。

選局対象

デジタル放送で **[チャンネル ∨,∧]** を押して順送りできるチャンネルを設定することができます。

- ワンセグ放送視聴時では、「テレビ」、「データ」は「すべて」と同じです。

▷ **設定チャンネル** ：チャンネル設定で設定されている 1 ～ 36 までのチャンネル
▷ **テレビ** ：テレビ放送(映像＋音声)
▷ **データ** ：データ放送
▷ **すべて** ：受信できるすべてのチャンネル

放送設定リセット

個人情報リセット

初期設定 (➜ 45 ～ 48) と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）も消去します。
廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

→ **[決定]** を３秒以上押して、さらに設定します。

チャンネル設定を修正する

1 AV切換 **を押して、「TV」を選ぶ**

2 サブメニュー(S) **を押す**

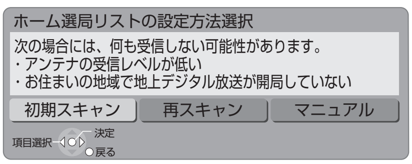
3 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、(決定) **を押す**

4 [▲][▼] で「放送設定」を選び、(決定) **を押す**

5 [▲][▼] で「放送設置」を選び、(決定) **を押す**

6 [▲][▼] で「チャンネル設定」を選び、(決定) **を押す**

7 (決定) **を押す**



受信できる局を自動で探す（初期スキャン）

以下のような場合に実行してください。

－ 新しくチャンネルを設定し直したいとき

－ 引っ越しなどで受信地域が変わって再設定するとき

上記手順 7 のあと

8 [◀][▶] で「初期スキャン」を選び、(決定) **を押す**

9 [◀][▶] で本機を使用している場所に該当する地域を選び、(決定) **を押す**

- 本機を使用している場所に該当する地域が登録されていない場合は、同じ都道府県や近郊の地域を選んでください。

10 設定内容を確認し、(戻る) **を押す**

受信できる局を追加する（再スキャン）

受信状況が変わったときに実行すると、チャンネルを追加します。

上記手順 7 のあと

8 [◀][▶] で「再スキャン」を選び、(決定) **を押す**

9 設定内容を確認し、(戻る) **を押す**

チャンネル設定を修正する（マニュアル）

設定したチャンネル設定を個別に修正したいときに実行してください。

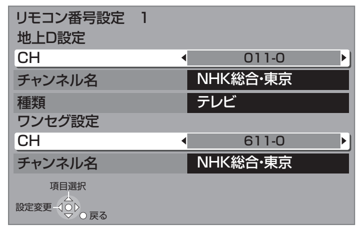
左記手順 7 のあと

8 [◀][▶] で「マニュアル」を選び、(決定) **を押す**

9 [▲][▼] で修正したいチャンネルを選び、(決定) **を押す**

- [▲][▼] を押すと、テレビ放送の画面も変更後のチャンネルの映像・音声に切り換わります。

10 [▲][▼] で「地上 D 設定」または「ワンセグ設定」を選び、[◀][▶] で修正する



- [◀][▶] を押すと、テレビ放送の画面も変更後のチャンネルの映像・音声に切り換わります。

11 (戻る) **を押す**

■ **チャンネルの順番を入れ換えるには**

チャンネル一覧画面表示中に

① [**緑**] を押す

② [▲][▼] で入れ換えをしたい行（チャンネルポジション）を選び、[**決定**] を押す

③ [▲][▼] で入れ換え先の行（チャンネルポジション）を選び、[**決定**] を押す

④ 入れ換えが終わったら [**戻る**] を押す

お知らせ

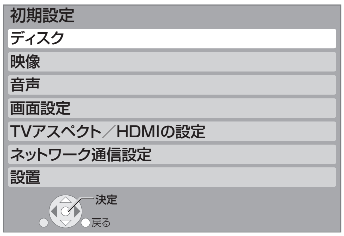
電源を切っても設定は保持されます。同じ場所でテレビを見る場合、再度チャンネルを設定する必要はありません。

本機の設定を変える（初期設定）

1 **スタート を押す**

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**

3 **[▲][▼]で「初期設定」を選び、決定 を押す**



4 **[▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す**

5 **[▲][▼]で設定項目を選び、決定 を押す**

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 **[▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、決定 を押す**

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

お知らせ

- 下記手順で表示することもできます。
  ① 停止中に、[サブメニュー] を押す
  ② [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
  ③ [▲][▼] で「初期設定」を選び、[決定] を押す
- 操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

暗証番号について
下記の項目の暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。
・「DVD-Video の視聴制限」(➜ 右記)
・「BD-Video の視聴可能年齢」(➜ 右記)
・「BD-Live インターネット接続」(➜ 46)
・「テレビでネット視聴制限」(➜ 47)

※ 「その他＊＊＊＊」を選んだ場合は、[1]～[10] で言語番号 (➜ 51) を入力してください。

ディスク

DVD-Video の視聴制限

DVDビデオの視聴制限ができます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で 4 けたの暗証番号 (➜ 左記) を入力してください。
  - ▷ <u>レベル8 すべて視聴可</u>：すべての DVD ビデオが視聴可
  - ▷ レベル7～1：制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可
  - ▷ レベル0 すべて視聴不可：すべての DVD ビデオが視聴不可

BD-Video の視聴可能年齢

BDビデオの視聴可能な下限年齢が設定できます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で 4 けたの暗証番号 (➜ 左記) を入力してください。
  - ▷ <u>無制限</u>：すべての BD ビデオが視聴可
  - ▷ 254 歳～0 歳：年齢制限の記録されているBDビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可

音声言語※

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」を選ぶとディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」を選ぶと、「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※

画面に表示される言語を選びます。

- 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

BD-Live インターネット接続

BD-V

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で 4 けたの暗証番号 (➜ 45) を入力してください。
  - ▷ **有効**：すべてのBD-Liveコンテンツに対してインターネットへの接続を許可
  - ▷ **有効(制限付き)**：BD-Liveコンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可
  - ▷ **無効**：すべてのBD-Liveコンテンツに対してインターネットへの接続を許可しない

AVCHD 優先モード

BD-RE **BD-R** **AVCHD** **AVCREC**

ハイビジョン画質の映像とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクを再生するとき、優先して再生する映像を設定します。

- ▷ **入**：ハイビジョン動画(AVCHD)を再生
- ▷ **切**：ハイビジョン画質の映像を再生

映像

スチルモード

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- ▷ **オート**
- ▷ **フィールド**：動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき
- ▷ **フレーム**：「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき

シームレス再生

部分消去した部分などの再生する状態が選べます。
（AVCHD の動画には、この設定は無効）

- ▷ **入**：なめらかに再生(早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。)
- ▷ **切**：精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮

「入」にすると、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に対し、小音量でもセリフを聞き取りやすくする効果が働きます。

デジタル出力

→ [決定] を押し、設定する音声を選んで、さらに設定します。

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD

DTS/DTS-HD

AAC

出力信号 (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS Digital Surround、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) を、接続機器側で処理を行う「Bitstream」で出力するか、本機で「PCM」に処理して出力するかを設定します。

- ▷ **Bitstream**：接続機器がそれぞれの音声をデコードできるとき
- ▷ **PCM**：接続機器がそれぞれの音声をデコードできないとき

それぞれの音声をデコードできるかどうかは、接続した機器の説明書をご覧ください。

HDMI端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。（例：テレビと HDMI 端子で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2 ch に制限されます）
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

BD ビデオ副音声・操作音

(副音声を含む **BD-V**)
BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

- ▷ **入**：サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。上記で「Bitstream」を選ぶと、副音声を含む BD ビデオ再生時は、Dolby Digital または DTS の Bitstream に変換します。
- ▷ **切**：オリジナルの音声方式を出力するとき

デジタル出力について詳しくは
➜ 49「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」

ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックス (➜ 60) の方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」(➜ 上記) が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
  - ▷ **ノーマル**：サラウンドに対応していない機器(テレビなど)に接続
  - ▷ **ドルビーサラウンド**：2チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能を有する機器に接続

以下のディスク再生時は、設定にかかわらず「ノーマル」で出力されます。
- **AVCHD** **BD-V** (副音声や操作音を含む)

画面設定

画面表示動作〔オート〕

操作状態を本機の画面に自動的に表示するか設定します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

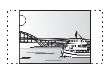
通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。
「入」に設定すると、接続したテレビの焼き付きを低減するために、以下のような動作を行います。
– 10分以上操作を行わないと、自動的に画面を切り換える
– 黒帯部分を明るくする
[外部テレビと HDMI 端子で接続時は、「HDMI出力解像度」(➜ 右記) が「480p」以外のとき]

TV アスペクト／ HDMI の設定

TVアスペクト

本機および接続したテレビの画面に働きます。

▷ **4:3 パン&スキャン**:
4:3 テレビに接続して映像を見たいとき
16:9 の映像は、左右の切れた映像で表示（パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します）



▷ **4:3 レターボックス**:
4:3 テレビに接続して映像を見たいとき
16:9 の映像は、上下に帯のある映像で表示



▷ 16:9:
本機または 16:9 ワイド画面テレビに接続して映像を見たいとき
4:3 の映像は、4:3 の比率のまま画面中央に表示

▷ 16:9フル:
本機または 16:9 ワイド画面テレビに接続して映像を見たいとき
4:3 の映像は、左右に引き伸ばされて表示

HDMI接続

→**[決定]** を押して、さらに設定します。

HDMI出力解像度

接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、「480p」に設定するか、再度正しく設定してください。

- 「オート」を選ぶと、1080i、720p、480p の順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。
- アンプを経由してテレビと接続する場合、接続するアンプが、本機で設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビを HDMI ケーブルで接続し、アンプとは映像・音声コードで接続してください。

HDMI RGB出力レンジ

RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効

- 「エンハンス」を選ぶと、映像の黒白が鮮明でないときに有効です。

HDMI 音声出力

音声を HDMI 端子から出力するかどうかを設定します。

ビエラリンク制御

- 「入」にすると、ビエラリンクによる連動操作を設定します。

ネットワーク通信設定

IP アドレス /DNS 設定

➜ 38、39

プロキシサーバー設定

➜ 39、40

テレビでネット設定

→**[決定]** を押して、さらに設定します。

テレビでネット視聴制限

暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで 4 けたの暗証番号 (➜ 45) を入力してください。

テレビでネット自動音量調整

コンテンツによって異なる音量を、自動的に標準の音量にします。

- コンテンツによっては、効果がない場合があります。
- 音声がひずむ場合は「切」に設定してください。

テレビでネット画面の縮小表示

コンテンツの端が切れないように、縮小して表示します。

設置

無操作電源 [切]

● ディスクまたは SD カード操作中のみ
「入」にすると、停止状態で約 15 分（バッテリーパック使用時は約 5 分）経過すると自動的に電源が切れます。

クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- AC アダプター接続時のみ働きます。(➜ 11)
- 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて待機時消費電力 (➜ 65) が増えます。

初期設定リセット

以下の設定を除き、初期設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
- · DVD-Video の視聴制限
- · BD-Video の視聴可能年齢
- · IP アドレス /DNS 設定
- · プロキシサーバー設定

● 放送設定の項目は変わりません。

ファームウェア アップデート

ファームウェアの自動更新確認
「入」にすると、本機の電源を入れたときに最新のファームウェアかどうかの確認を行います。

ファームウェアアップデートの実行
➜ 37

いろいろな情報を見る（メール/情報）

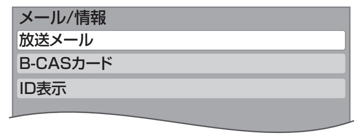
放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

1 AV切換 **を押して、「TV」を選ぶ**

2 スタート **を押す**

3 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、** 決定 **を押す**

4 **[▲][▼]で「メール / 情報」を選び、** 決定 **を押す**



5 **[▲][▼]で項目を選び、** 決定 **を押す**

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

画面を消すには
[戻る] を数回押す

放送メール

放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）などがあります。

[▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。
- メールの送信や返信はできません。

B-CASカード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CASカードの番号が必要な場合に使用します。

ID表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには
- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch(チャンネル数）は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><td>接続端子</td><td colspan="4">HDMI 端子</td></tr>
<tr><td>「デジタル出力」の設定</td><td colspan="2">Bitstream※1</td><td colspan="2">PCM※2</td></tr>
<tr><td>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</td><td>入※3</td><td>切</td><td>入</td><td>切</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX※4</td><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX※5</td><td rowspan="7">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2" rowspan="3">5.1ch PCM※6</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>Dolby TrueHD</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES※4</td><td>DTS Digital Surround
DTS-ES※5</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch ※7</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td rowspan="2">DTS Digital Surround</td><td colspan="2" rowspan="2">BD-V 7.1ch ※6、※7</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td>ダウンミックス
5.1ch PCM</td><td>ダウンミックス
5.1ch PCM※3</td><td>7.1ch PCM</td></tr>
</table>

※1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※2 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※3 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」**(➜ 46)** を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※4 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DTS-ES は DTS Digital Surround としてデコードした PCM 音声になります。

※5 BD-V **初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」**(➜ 46)** を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

※6 Dolby Digital Plus や Dolby TrueHD は Dolby Digital として、DTS-HD High Resolution Audio や DTS-HD Master Audio は DTS Digital Surround としてデコードした PCM 音声になります。

※7 BD-V 接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に拡張して出力します。

パソコンなどでファイルを作るときは

ファイルフォーマット	MP3	JPEG
ディスク	CD-R/RW※1、DVD-R/R DL※1	CD-R/RW※1、DVD-RAM※2、 DVD-R/R DL※1、BD-RE※3、 SD カード
拡張子	“.mp3”、“.MP3”	“.jpg”、“.JPG”
画素数	—	34×34 ～ 8192×8192 画素 (サブサンプリング：4:2:2、4:2:0)
対応ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps	—
再生可能な サンプリング周波数	44.1 kHz/48 kHz	—
備考	ID3 タグ : バージョン 1/2.2/2.3/2.4 ID3 タグは、MP3 ファイルに書き込まれている曲についての情報です。 本機は上記のバージョンの再生に対応していますが、表示できる情報はタイトルとアーティストの名前のみになります。 ● 静止画データなどが入った MP3 ファイルは再生できない場合があります。	DCF※4 (Design rule for Camera File system) に準拠した JPEG 解凍時間：約 2 秒 (700 万画素) ● MOTION JPEG：非対応

- 英数字以外の文字は、正しく表示されないことがあります。
- メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なる場合があります。
- ディスクの作りかたによっては、再生順が異なる場合があります。
- パケットライト方式 (データ記録方式のひとつで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式) で記録されたファイルは再生できません。
- 記録状態によっては再生できない場合があります。
- ファイル数やフォルダ数が多い場合、再生開始までに時間がかかったり、再生できないことがあります。

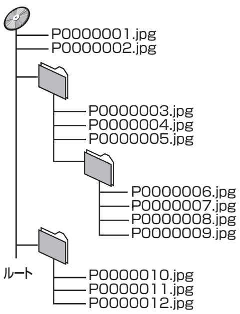
※1 使用できるフォーマット：ISO9660 level1 および level2 (拡張フォーマットを除く)、Joliet
本機はマルチセッションに対応しています。
※2 使用できるフォーマット：UDF 2.0
※3 使用できるフォーマット：UDF 2.5
※4 DCF：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）] にて制定された統一規格

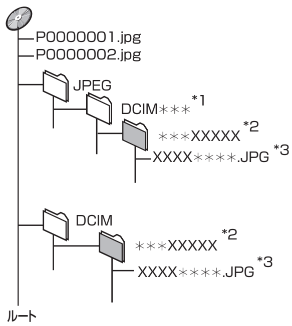
■ 本機で表示されるフォルダ構造例

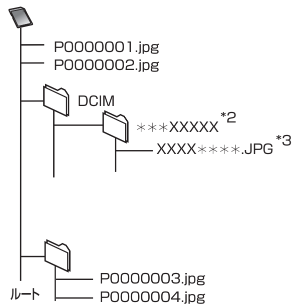
ディスク上に下記のようなフォルダを作成することで本機でファイルを再生することができますが、データの作りかたによっては、再生順が異なる場合があります。

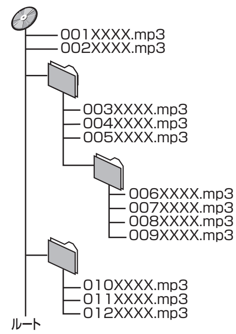
: 表示されるフォルダ
＊＊＊: 数字
XXX: 半角文字
※1 ＊＊＊：001 から 999 まで
※2 ＊＊＊：100 から 999 まで
XXX：5 けたまで
※3 ＊＊＊＊：0001 から 9999 まで

写真 (JPEG) のフォルダ構造例			音楽 (MP3) のフォルダ構造例
DVD-R/DL/CD-R/RW フォルダ内のファイルは、更新された順、または撮影された順に表示されます。	**BD-RE/DVD-RAM** ● フォルダを表示することはできません。	**SD カード** 全フォルダ内の JPEG ファイルを表示します。 ● フォルダを表示することはできません。	**DVD-R/DL/CD-R/RW** (**CD-R/RW に記録された MP3 の場合**) 再生したい順に 3 けたの番号を付けてください。









言語番号一覧

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
ヴォラピュック	8679
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

必要なとき

こんな表示が出たら

起動時や操作中に異常が起こった場合、本機の画面に以下のメッセージやサービス番号が表示されます。

ランプの点滅

[⏻] ランプがはやく点滅	● 本体に異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」に修理をご依頼ください。➜ 72 ～ 73
[⏻] ランプがゆっくり点滅	● LCD (液晶) メニューの「画面」が「切」(映像なし) または「MONITOR」が「OFF」(映像なし) になっています。再生しないときは電源を切ってください。➜ 12、33
[CHG] ランプがはやく点滅	● バッテリーパックに異常が発生しました。電源を入れて画面の表示をご確認ください。➜ 53
[CHG] ランプがゆっくり点滅	● 電池残量が少なくなっています。(数分すると、電源が切れます)

画面の表示

現在、受信できません。	● アンテナの角度や本機の位置を変えてみてください。 ● 外部アンテナと接続している場合は、接続を確認してください。➜ 14
B-CAS カードを正しく挿入してください。	● B-CAS カードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。➜ 10
再生できません。	● 非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。➜ 6
本機では再生できません。	● 非対応の画像を再生しようとしています。➜ 50 ● SD カードを入れ直してください。➜ 13
ディスクが入っていません。	● ディスクが裏返しになっていませんか。➜ 13
⃠ この操作はできません。	● 本機が操作を制限しています。 例：BD-V 再生中は逆スローと逆コマ送りができません。
⃠ この操作はディスクにより禁止されています。	● ディスクによっては、映画の予告編や警告画面の再生中に、サーチやスキップができない場合があります。➜ 25
接続できませんでした。 LAN ケーブルの接続を確認してください。	● ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消灯しているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル(誤ってクロスケーブルを使用)などを確認してください。➜ 36
IP アドレスが設定されていません。	● **初期設定**「IP アドレス /DNS 設定」で「IP アドレス設定」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス設定」、「サブネットマスク設定」、「ゲートウェイアドレス設定」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください。) ➜ 38 ～ 39
IP アドレスが取得できません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。	● ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。➜ 36 – ルーターにつなぐ側のポートは、UPLINK につないでください。 – ハブの Link ランプが点灯しているか確認し、消灯している場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル(誤ってクロスケーブルを使用)などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。➜ 36
IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	● 本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。他のパソコンや、本機、ルーターの IP アドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。

画面の表示

接続テストを実行できませんでした。 アドレスが正しく設定されませんでした。	● 一度、電源を「切」にし、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
接続に失敗しました。 ゲートウェイが応答しません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。	● ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。➜ **36** – ルーターにつなぐ側のポートは、UPLINK につないでください。 – ハブの Link ランプが点灯しているか確認し、消灯している場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。 ● **初期設定**「IP アドレス /DNS 設定」で「IP アドレス設定」、「サブネットマスク設定」、「ゲートウェイアドレス設定」をご確認ください。➜ **38 ～ 39** ● MAC アドレスが必要な場合は、**初期設定**「ネットワーク通信設定」を表示してご確認ください。➜ **38**
ネットワークへ接続できません。 初期設定「ネットワーク通信設定」または「BD-Live 機能のネットワーク接続」を確認してください。	● **初期設定**「BD-Live インターネット接続」を「有効（制限付き）」に設定して、BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれていないディスクを再生した場合、インターネットへの接続は許可されません。インターネットへの接続を許可する場合は、「BD-Live インターネット接続」を「有効」に設定してください。➜ **46**
ファームウェア のバージョン確認に失敗しました。 しばらくしてから、もう一度やり直して下さい。	● ファームウェアのサーバーは現在使えません。しばらくしてから、もう一度やり直してください。
ERROR U580	● バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」にご相談ください。➜ **72 ～ 73**
ERROR U581	● 充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。再度充電してください。
ERROR U582	● 暑いまたは寒い場所で充電しています。常温の場所で充電してください。
PLEASE WAIT	● 起動中です。表示が消えるまでお待ちください。
F99	● 本機が正常に動作しません。本体の **[電源]** を３秒以上押し、電源を切ってください。そのあと、もう一度 **[電源]** を押して、電源を入れてください。
U72 U73	● HDMI 接続時に異常が発生しました。 – 接続機器が HDMI に対応していません。 – HDMI ロゴの付いたケーブルをお使いください。 – HDMI ケーブルが破損しています。
U76	● HDMI 端子と接続した機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護された BD-RE、BD-R、BD ビデオ、DVD ビデオおよび AVCREC 記録方式のディスクは再生できません。
U77	● お使いの BD-RE、BD-R、BD ビデオ、DVD ビデオまたは AVCREC 記録方式のディスクは著作権情報が不正なため映像は出力されません。
F □□ H □□ (□□は数字)	● 異常が発生しました。(「F」または「H」以降の数字は、本機の状態によって変わります）電源を一度、切／入してください。または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。

処置をしても「F □□」、「H □□」または「U □□」が消えないときは
お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」に修理をご依頼ください (➜ **72 ～ 73**)。
その場合、画面に表示される番号をお知らせください。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

以下の現象が起こるときがありますが、異常ではありません。
- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 長時間使うと、本体表面が多少熱くなる。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。
- 電源「入」時などに動作音がする。

■ 本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機のお手入れなどをするときは、電源を切ってから 3 分以上待ってください。
- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

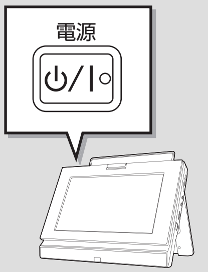
■ 本機が操作を受けつけなくなったときは

各種安全装置が働いていることがあります。

① 本体の [**電源**] を押し、電源を切る
- 切れない場合は、約 3 秒間押し続けると強制的に切れます。

② 本体の [**電源**] を押し、電源を入れる

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



電 源	
電源が入らない	● バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。➜ 11 ● 高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。本機およびバッテリーパックは 5 ℃～ 35 ℃の間で使用してください。 ● [**電源**] を長く押してみてください。 ● 電源「切」直後は、電源が入らない場合があります。「BYE」の表示が消えてから [**電源**] を押し、電源を入れてください。 ● 画面を外側に向けて閉じているときのみ (**➜ 10「本機を設置する」③、④の状態**)、本機の電源を入れることができます。
勝手に電源が切れる	●「無操作電源 [切]」が働いていませんか。➜ 48 ● 電源を入れ直してください。➜ 12 ● オフタイマー機能が働いていませんか。➜ 12 ● 各種安全装置が働いていることがあります。[**電源**] を押し、電源を入れてください。 ● ビエラリンク (HDMI) をお使いのときは、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。ビエラリンク (HDMI) を使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「切」にしてください。➜ 47 ● 電源「入」時に画面を回転させると、画面の表示が消え、自動的に本機の電源は切れます。➜ 10
充電できない ([CHARGE] ランプが点灯しない)	● 高／低温下では、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。 ● バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。➜ 11
充電しても再生時間が極端に短い	● バッテリーパックの寿命です。（充電回数：約 300 回が目安）

ボタン操作

各ボタン操作ができない	● 画面を外側に向けて閉じているときのみ (➜ 10「本機を設置する」③、④の状態)、本機を操作することができます。 ● 再生するメディアや操作する機能を間違って選んでいませんか。➜ 8、9、13 ● ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。 ● 特定の操作を禁止しているディスクもあります。 ● 落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度、切／入してください。または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。
リモコンで操作できない	● 画面を外側に向けて閉じているときのみ (➜ 10「本機を設置する」③、④の状態)、本機を操作することができます。 ● 電池の＋－を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものと交換してください。➜ 9 ● 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。➜ 9 ● リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）などがありませんか。
字幕が出ない	● 字幕の入ったディスク、または字幕のあるテレビ放送のみ表示します。 ● 字幕を「入」にしてください。➜ 20、27

本体

本機が熱い	● 本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。 移動やお手入れなどをするときは、AC アダプターを外して 3分以上待ってから移動させてください。本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	● **初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。➜ 48

液晶画面

液晶画面が暗い	● LCD (液晶) メニューの「画質モード」または「PICTURE」で明るさを調整してください。➜ 12、33
液晶画面の一部の画素が欠けたり常時点灯する	● カラー液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素であるものを採用しておりますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではありません。
液晶画面に映像が映らない	● LCD (液晶) メニューの「画面」が「切」(映像なし) または「MONITOR」が「OFF」(映像なし) になっていませんか。➜ 12、33 ● 液晶画面を回転させると、画面の表示が消え、自動的に本機の電源は切れます。➜ 10
映像が乱れる	● 早送り／早戻し時、多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。 ● 本機でワンセグ放送を受信する場合、画像が粗くなったり、映像の動きがなめらかでない場合がありますが、故障ではありません。 ● HDMI 接続時、本機の画面では画質が低下します。➜ 32
映像再生中に残像が生じる	●「 3D NR 」または「 Integrated NR 」を「 0 」にしてください。➜ 27
画質を調整しても映像が変わらない	● 映像によっては効果が得られない場合があります

テレビ放送

映像や音声が出ない、または映りが悪くなった	● 使用しているアンテナに合わせて、[アンテナ切換] を切り換えていますか。➜ 14 ● **放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。➜ 43
地上デジタル放送が受信できない	● お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていますか。受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できません。 ● 外部アンテナと接続時、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを使用していますか。現在の地上アナログ放送用UHFアンテナが、視聴地域の特定チャンネルに対応していない場合や、受信方向が異なる場合は、アンテナの増設が必要です。 ● **放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。レベルが高い、または低い場合は、「内蔵アンテナ受信感度」の設定を変更すると、受信できる場合があります。➜ 43
字幕や文字スーパーが出ない	● 字幕や文字スーパーのある番組の場合、**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」にしてください。➜ 43

番組表

番組表が表示されない	● 本機を初めてご使用のときは、番組表が表示できていません。チャンネルを設定してください。➜ 14 ● AC アダプターを接続した状態で電源「切」にすると、最新の番組表を自動的に受信します。➜ 17 ● お住まいの地域の受信状態に問題がある場合（電波状態が弱い場合など）は、データが取得できません。 ● ワンセグ放送の番組表は、すべては表示されません。

音 声

本機のスピーカーから音が出ない	● ヘッドホンを抜いてください。 ● 音量を調整してください。➜ 8、9
雑音が聞こえる	● 本機と携帯電話を近づけて使っていませんか。
音声効果が働かない	● 音声効果が働かなかったり、出にくいディスクもあります。
片方のスピーカーからしか音声が出ない	● **初期設定**「ダウンミックス」を「ノーマル」にしてください。➜ 46
音声が切り換えられない	● HDMI端子でアンプと接続していませんか。**初期設定**「デジタル出力」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか映像・音声コード (付属) で接続してください。➜ 46 ● ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

再生

再生できない (またはすぐに停止する)	● 寒いところから急に暖かいところへ持ち込むと露つきが発生し、再生できない場合があります。1 ～ 2 時間放置してください。 ● 再生できるディスクかどうか確認してください。➜ **6** ● ディスクが汚れていませんか。➜ **5** ● ディスクを正しくセットしてください。➜ **13** ● ディスクに CD-DA（CD）と別のフォーマットが含まれている場合、正しく再生できないことがあります。 ● 記録済みのディスクが入っていますか。 ● カートリッジ付きのディスクは再生できません。 ● **[AV 切換]** を押して「DISC」または「SD」に切り換えてください。
再生されるまでに時間がかかる	● HDMI ケーブルと接続しているときは、再生されるまでに時間がかかります。 ● 静止画データの入った MP3 ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。
再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	● 2倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。
番組の先頭から再生が始まらない	● 続き再生メモリー機能が働いています。番組の先頭から見たい場合は、**[⏮]** を数回押して番組の先頭に戻ってください。
映像や音声が一瞬止まる	● シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ● DVD-R DL など 2層にまたがって記録されているディスクを再生すると、層の変わり目で音声や映像が途切れることがあります。
BD ビデオや DVDビデオを再生できない	● ディスクのリージョンコード / リージョン番号を確認してください。 ● 視聴制限が設定されている場合、**初期設定**「DVD-Video の視聴制限」や「BD-Video の視聴可能年齢」を変更してください。➜ **45**
BD ビデオの副映像を再生できない	● 副映像のあるディスクであることを確認してください。
BD-Live 対応ディスクを再生できない	● ネットワークの接続を確認してください。➜ **36** ● BD-Live 対応ディスクであることを確認してください。 ● SD カードの残量が十分か確認してください。 ● SD カードが書き込み禁止でないか確認してください。➜ **7**
音声言語や字幕言語が切り換えられない	● ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ● **再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。➜ **23**、**27**
市販ディスクの字幕が出ない	● ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。➜ **27**
アングルを切り換えられない	● ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。
BD ビデオや DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	● 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。ディスクや SD カードを本機から取り出した状態で、本体の **[サブメニュー]** と **[⏮]** を 5 秒以上押すと視聴制限を解除します。
スロー再生が戻り方向に働かない コマ送り (戻し) が正しく働かない	● BD-V AVCHD スロー再生は戻り方向には働きません。 ● BD-V AVCHD コマ戻しはできません。 ● SD VIDEO スロー再生およびコマ送り (戻し) はできません。
続き再生メモリー機能が働かない	● 記憶した位置は、以下の場合解除されます。 – **[■ 停止]** を数回押す – ディスクやSDカードを取り出す – CD や SD カード再生時に電源を切る – 電源「入」時に、停電になったり、AC アダプターが外れたり、バッテリーパックの残量がなくなるなどで電源が切れる ● ディスクによっては働かない場合があります。

写真

SD カードのコンテンツが読み込めない	● 本機で対応しているフォーマットではありません。あるいは SD カード内のコンテンツが破壊されている可能性があります。➜ 7 ● 本機は当社製デジタルカメラ、ブルーレイディスクレコーダー、または同様の機器を使用し、SD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。➜ 7 ● 本機で対応していないフォルダ名やファイル名、あるいは拡張子を含む SD カードです。➜ 50 ● 本機の電源を入れ直してください。 ● 本機では８ MB～２ GBまでのSDメモリーカードと４ GB～32 GBのSDHCメモリーカードが使用できます。
写真一覧画面で写真が表示されない	● パソコンなどで編集した写真は再生できない場合があります。

SD カード

SD カード容量が減っている	● BD-Live 対応ディスク再生中、データは SD カードにダウンロードします。「BD ビデオデータ消去」を使って SD カードをフォーマットするか、新しい SD カードをお使いください。➜ 28

音楽

CDのボーナストラックが再生できない	● 本機では再生できません。

接続

外部テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	● テレビとは直接接続してください。➜ 32 ● 接続を確認してください。➜ 32 ● テレビの電源は入っていますか。 ● テレビの入力切換は正しいですか。 ● テレビ側の画面モードを変更してください。 ● **初期設定**「TVアスペクト」は、正しく設定されていますか。➜ 47 ● 本機で受信したテレビ放送を出力する場合、放送内容によっては、出力できないことがあります。 ● HDMI ケーブルによっては、接続の向きが決められているものがあります。向きを逆にして接続してみてください。 ● 接続したテレビに複数のHDMI入力端子がある場合、他のHDMI入力端子に接続してみてください。 ● テレビのハイビジョン方式（MUSE）の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ● テレビによっては、再生などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 ● HDMI 接続で４台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。
横縦比 4:3 の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	● **初期設定**「TV アスペクト」の設定を確認してください。➜ 47 ● 接続したテレビ側の画面モードなどの設定を確認してください。 接続したテレビの説明書もご確認ください。 ● 本機の画面モードの設定を確認してください。➜ 21
映像が縦に引き伸ばされる	● ４：３で記録された映像の可能性があります。 **初期設定**「TV アスペクト」を「16：９ フル」に設定すれば、16：９映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。➜ 47 ● ４：３のテレビに HDMI 端子で接続し、16：９映像を出力する場合、縦に引き伸ばされます。テレビのアスペクト設定で調整してください。また、調整ができない場合、**初期設定**「HDMI 出力解像度」を「480p」に設定してください。➜ 47

接続	
画面の左右に黒帯が表示される	● **初期設定**「TV アスペクト」を「16:9 フル」にするか、「画面モード切換」で「サイドカット」を選んでください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。**➜ 21、47**
映像の左右の端が切れる、または色が薄い	● 表示領域の広いテレビは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。
表示していた画面が消える	● **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、10 分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。**➜ 47**
外部スピーカーから音が出ない	● 接続を確認してください。**➜ 32** ● 接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。**➜ 46** ● HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ● HDMI 端子で接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。 ● HDMI 端子で接続し、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」にしている場合、副音声を含む BD ビデオでは、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声は Dolby Digital の音声で、DTS-HD の音声は DTS の音声で 48 kHz に変換されて出力されます。オリジナルの音声で出力する場合は、「切」にしてください。**➜ 46**

ビエラリンク	
ビエラリンク (HDMI) が働かない	● **初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」になっていますか。**➜ 47** ● 接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。**➜ 34** ● 本機の画面を外側に向けて閉じた状態にしていますか (**➜ 10「本機を設置する」**③、④**の状態**)。それ以外の状態では、テレビのリモコンで本機を操作することはできません。 ● バッテリーパックのみで本機を使用している場合は、本機の電源を入れてから操作してください。**➜ 12** ● HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク (HDMI) が動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 1. HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（ビエラ）の電源を入れ直す 2. テレビ（ビエラ）のビエラリンク (HDMI) を制御する設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する（詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください） 3. テレビ（ビエラ）の入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、ビエラリンク (HDMI)が動作するか確認する

ネットワーク接続	
ネットワークに接続できない	● ネットワーク接続は正しいですか。**➜ 36** ● 電話回線用のモジュラーケーブルを接続していませんか。LAN ケーブルを接続してください。 ● ハブまたはブロードバンドルーターの電源を入れてください。 ● ハブまたはブロードバンドルーターの接続は正しいですか。 ハブまたはブロードバンドルーターの説明書をご確認ください。 ●「BD-Live インターネット接続」または「ネットワーク通信設定」の設定を確認してください。**➜ 38、46**

テレビでネット	
インターネットサービスが動かない・つながらない	● ネットワーク接続は正しいですか。**➜ 36** ● **初期設定**「DNS-IP 自動取得」が「入」になっていますか。**➜ 39** ● 各種インターネットサービスをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。 ● ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。

用語解説

ア　アンテナレベル

アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域などによって影響を受けます。

カ　ゲートウェイアドレス

インターネットのアクセスで経由すべき機器のIPアドレス。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスのことをいいます。
（例：192.168.0.1）

サ　サブネットマスク

ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。（例：255.255.255.0）

サムネイル

複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
１秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

字幕放送

テレビ番組の音声を文字で表示する放送です。
放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

タ　ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。
ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差が小さくなり、小音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

ダウンミックス

デジタル放送やディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオなどをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されます。

地上デジタル放送

UHF帯の電波を使って行うテレビ放送です。関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。
本機での地上デジタル放送 の視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません (2009 年 1 月現在)。

データ放送

お客様のお住まいの地域の天気予報などの情報を選んで画面に表示させることができる放送です。また、テレビ放送に連動したデータ放送も行われます。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

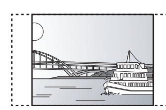
デジタルハイビジョン

デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送（SD）とデジタルハイビジョン放送（HD）があります。ハイビジョンの有効走査線数は現行テレビ放送の480本の倍以上の1080本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

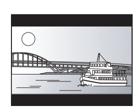
ハ　パン & スキャン/レターボックス

BD ビデオ、DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が 16：9）を前提に制作されているため、従来のサイズ（横縦比が4：3）のテレビに映し出そうとすると、
16：9の映像が4：3に収まらなくなります。
4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン & スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を映し出します。



ファイナライズ

番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画の映像などで使われています）
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。（テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています）

プライマリDNS/セカンダリDNS

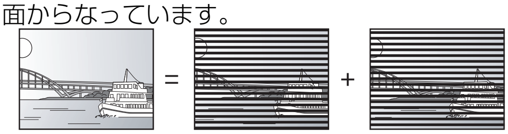
インターネット上で名前とIPアドレスを対応させる電話帳のような機能を持ったサーバーです。本機はこのサーバーのIPアドレスを2つまで登録することができます。

ブラウザ

ネットワーク上のページを表示するためのソフトウェアです。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



フレーム　フィールド　フィールド

フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

ブロードバンド

ご家庭でいつでもインターネットを楽しめるインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速なアクセスが可能です。

プログレッシブ (p) /インターレース (i)

インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を 1 回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

プロバイダー

ケーブルに接続した機器を、インターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。

マ

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ワ

ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス）

携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送のことです。UHF 電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。2006 年 4 月 1 日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）
本機でのワンセグの視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません (2009 年 1 月現在)。

A

AVCHD（エーブイシーエイチディー）

高精細なハイビジョン映像を 8 cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

AVCREC（エーブイシーレック）

高精細なハイビジョン映像をハイビジョン画質のまま DVD 等に記録できるように開発された新しい記録フォーマット (規格) の名称です。
DVD 機器で再生するには、記録したディスクの AVCREC 方式の再生に対応している必要があります。

B

BD - J（ビーディー ジェイ）

BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

BD - Live（ビーディー ライブ）

BD ビデオの新しい再生機能で、インターネットに接続してインタラティブな機能が楽しめます。

Bitstream（ビットストリーム）

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1 chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

BONUSVIEW™（ボーナスビュー）

BD ビデオの新しい再生機能で、ディスクに記録された本編以外の副映像などを楽しむことができます。

D

ディーエイチシーピー
DHCP
ダイナミック　ホスト　コンフィギュレーション　プロトコル
（Dynamic Host Configuration Protocol）

サーバーやブロードバンドルーターが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

ディーエルエヌエー
DLNA
デジタル　リビング　ネットワーク　アライアンス
（Digital Living Network Alliance）

PC 業界と家電業界の企業により、ホームネットワーク環境でデジタル AV 機器同士や、PC を相互に接続することを目的として結成された団体のことです。

ドルビー　デジタル
Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2 ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビー　デジタル　プラス
Dolby Digital Plus

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1 ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD 規格では最大 7.1 ch まで対応しています。

※本機では最大 5.1 ch の PCM 音声にデコードして HDMI 端子から出力できます。また、対応している AV アンプに「Bitstream」で出力することもできます。

ドルビー　トゥルーエイチディー
Dolby TrueHD

DVD オーディオで採用されている MLP ロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1 ch まで対応しています。

※本機では最大 5.1 ch の PCM 音声にデコードして HDMI 端子から出力できます。また、対応している AV アンプに「Bitstream」で出力することもできます。

ディーティーエス　デジタル　シアター　システムズ
DTS （Digital Theater Systems）

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

ディーティーエス　エイチディー
DTS - HD

映画館で採用されている DTS をさらに高音質 / 高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでも DTS として再生することができます。BD 規格では最大 7.1 ch まで対応しています。

ディーティーエス　エイチディー　ハイ　レゾリューション　オーディオ
DTS - HD High Resolution Audio

従来の DTS、DTS-ES、DTS96/24 フォーマットを改良した信号フォーマットで、サンプリング周波数の 96kHz/48kHz 対応しています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

ディーティーエス　エイチディー　マスター　オーディオ
DTS - HD Master Audio

ロスレス音声フォーマットで、最大 96kHz/7.1ch に対応し、さらにロスレス音声符号化技術によってマスター音声の忠実な再現を可能としています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

H

エイチディーエムアイ
HDMI
ハイ デフィニション　マルチメディア　インターフェイス
（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

I

アイピー
ＩＰ アドレス

インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、ブロードバンドルーターなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。（例：192.168.0.87）

J

ジェイペグ
JPEG
ジョイント　フォトグラフィック　エキスパーツ　グループ
（Joint Photographic Experts Group）

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L

ラン　ローカル　エリア　ネットワーク
LAN（Local Area Network）

社内や学校内、家庭内など、一定範囲内のネットワークのことです。

エルピーシーエム　ピーシーエム
LPCM（リニア PCM ）

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

ロウ　トゥー　ハイ
LTH（Low to High）

有機色素系媒体を用いて記録するブルーレイディスクの新規格です。

M

マック
MAC アドレス

ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、イーサーネットアドレスやハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

MPEG2（エムペグツー）**、MPEG-4 AVC / H. 264**（エムペグフォー エーブイシー エイチ）

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。
MPEG2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

Ⓟ **PCM（Pulse Code Modulation）**（ピーシーエム パルス コード モジュレーション）

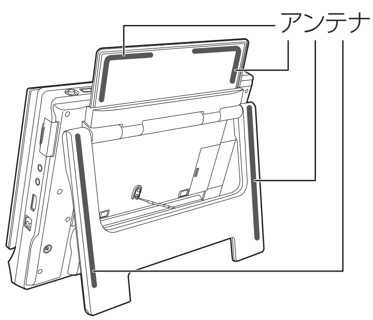
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

① **1080i、720p、480p、480i**

映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は1コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i= 飛び越し走査）は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p= 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080i、720p、480p、480iの表示は総走査線数にあたる1125i、750p、525p、525iと表示されることもあります。

④ **4アンテナ　ダイバーシティーシステム**

4本の異なるアンテナで放送波を受信して処理することにより、最適な受信状態を実現するシステムです。



表示マーク一覧

- 本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
データ	データ放送の番組
＋d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
信号	映像や音声などの信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1chなどのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
アナログ X出力	アナログ出力しない番組（音声も出力されません）
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 （デジタルハイビジョン放送－1080i、720p） （デジタル標準テレビ放送－480p、480i）
主＋副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
字幕	字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
コピー 制限	「ダビング10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組

その他の画面

	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）（➜ 48）
	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール（既読メール）
	再生中の曲（➜ 29）

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380;5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
  DTS は、DTS,Inc. の登録商標です。DTS のロゴ、シンボルマーク、DTS-HD、及び、DTS-HD Advanced Digital Out は、DTS,Inc. の商標です。
  著作権 1996-2008 DTS, Inc. 不許複製。
- SDHCロゴは商標です。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “BD-LIVE” ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- “BONUSVIEW” は Blu-ray Disc Association の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本機が表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、［AV 切換］で「T V」選択時に［スタート］を押し、「その他の機能へ」→「メール／情報」→「ID表示」→「ソフト情報表示」をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2009年1月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源
DC 12 V（DC IN 端子）/
DC 7.2 V（バッテリー端子）

消費電力（付属の専用 AC アダプター使用時）
動作時：約 20 W（本体 約 17 W）
充電時 （クイックスタート「切」）：約 10 W
充電時 （クイックスタート「入」）：約 13 W
待機時 （クイックスタート「切」）：約 0.5 W
待機時 （クイックスタート「入」）：約 4 W

AC アダプター
入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
消費電力：51 VA ～ 72 VA
出力：DC 12 V、2.0 A

付属バッテリーパック VUADB15（リチウムイオン）
電圧：7.2 V
容量（最小）：4200 mAh

本体

外形寸法（突起物を含まず）	幅 256 mm×高さ 202 mm×奥行き 58.7 mm
質量	約 1740 g（バッテリーパック含む） 約 1507 g（バッテリーパック含まず）
許容周囲温度	+5 ℃～35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %RH （結露なきこと）
映像方式	NTSC 方式
液晶ディスプレイ	8.9 型 α － Si TFT ワイド液晶モニター 画素数：横 1024 ×縦 600
テレビ受信チャンネル	地上デジタル放送 （ワンセグ放送対応※1）： UHF13 ch ～ 62 ch※2
アンテナ受信入力	内蔵アンテナ： 4 アンテナ　ダイバーシティーシステム 外部アンテナ入力端子： 1 系統（75 Ω）
音声 / 映像出力 / 入力	出力 / 入力端子： φ 3.5 mm ミニジャック 端子数：　1 系統（入出力切換式） コンポジット映像出力 / 入力レベル： 出力 / 入力レベル：1 Vp-p （75 Ω） 音声出力： 出力レベル： 1.5 Vrms （1 kHz、0 dB、10 kΩ） 周波数特性 ・DVD（リニア音声）： 4 Hz ～ 22 kHz （48 kHz サンプリング） 4 Hz～44 kHz （96 kHz サンプリング） ・CD audio：　4 Hz ～ 20 kHz S/N 比：　100 dB ダイナミックレンジ：　90 dB 全高調波歪率：　0.015 %
HDMI 映像・音声出力	端子数 ：1 系統（19 ピン typeA 端子） HDMI[本機はビエラリンク（HDMI）Ver.4 に対応しています] （1080i/720p/480p）
LAN 端子	端子数： 1 系統（10BASE-T/100BASE-TX）
スピーカー	出力 ：500 mW + 500 mW (8 Ω)
ヘッドホン出力	出力端子： φ 3.5 mm ステレオミニジャック （16 ～ 32 Ω 推奨） 端子数：　1 系統

※1 データ放送受信には対応していません。
※2 トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式の CATV には対応していません。

必要なとき

DISC部

リージョンコード	DVD： ＃2 BD： Region A
再生可能なディスク	● BD-RE SL(SL: 片面 1 層)： 2X SPEED（Ver.2.1 準拠）25 GB （1X SPEED Ver.1.0 は非対応） ● BD-RE DL(DL: 片面 2 層)： 2X SPEED（Ver.2.1 準拠）50 GB （1X SPEED Ver.1.0 は非対応） ● BD-R SL(SL: 片面 1 層)： 2X SPEED LTH type （Ver.1.2 準拠）25 GB 6X SPEED LTH type （Ver.1.3 準拠）25 GB 2X SPEED（Ver.1.1 準拠）25 GB 4X SPEED（Ver.1.2 準拠）25 GB 6X SPEED（Ver.1.3 準拠）25 GB ● BD-R DL(DL: 片面 2 層)： 2X SPEED（Ver.1.1 準拠）50 GB 4X SPEED（Ver.1.2 準拠）50 GB 6X SPEED（Ver.1.3 準拠）50 GB ● BD-Video（BD-Live 対応） ● CD-Audio：CD-DA ● CD-R/CD-RW： CD-DA、 JPEG/MP3 フォーマット記録ディスク ● DVD-RAM※1： DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCREC 規格準拠、 AVCHD 規格準拠 ● DVD-R、DVD-R DL（片面2層）： DVDビデオレコーディング規格準拠、 DVDビデオ規格準拠※2、 AVCREC 規格準拠※2、 AVCHD 規格準拠※2 ● DVD-RW： DVDビデオレコーディング規格準拠、 DVDビデオ規格準拠※2、 AVCHD 規格準拠※2 ● +R、+R DL（片面2層）、+RW： DVDビデオ規格準拠※2、 AVCHD 規格準拠※2 ● DVD-Video ：DVDビデオ規格準拠

※1 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※2 他の機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※1、※2、※3、※4

● 使用可能容量は少なくなることがあります（SD メモリーカード）。

※1 SDHCメモリーカードを含む。（Class非対応）
※2 miniSDカードを含む。
（miniSDアダプター装着時）
※3 microSDカードを含む。
（microSDアダプター装着時）
※4 microSDHC カードを含む。
（microSDHC アダプター装着時）

SDカード機能/静止画（JPEG）

対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※1
画像ファイル形式	● JPEGベースライン方式 (DCF 準拠) ● DPOF対応
画素数	34×34〜8192×8192 サブサンプリング： 4：2：2、4：2：0
解凍時間※2	約2秒（1010万画素、JPEG）

※1 ロングファイル名非対応。
※2 解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

SDカード機能/動画（MPEG-2）

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
圧縮方式	MPEG-2

SDカード機能/動画（ワンセグ）

ファイル形式	SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠 ※ ワンセグ録画用
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

SDカード機能/動画（AVCHD）

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

音楽

再生可能なメディア	● CD-Audio（CD-DA） ● CD-R/CD-RW ● DVD-R/DVD-R DL
対応ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps
サンプリング周波数	44.1 kHz/48 kHz

写真 (JPEG)

再生可能なメディア	● BD-RE ● DVD-RAM ● DVD-R/DVD-R DL ● CD-R/CD-RW ● SD カード
ファイル方式	JPEG ベースライン方式 (DCF 準拠) ● ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ） ● MOTION JPEG 非対応
画素数	34×34 ～ 8192×8192 サブサンプリング： 4：2：2、4：2：0
フォルダ数 ※ 1	CD-R/CD-RW ： ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ BD-RE、DVD-RAM、 DVD-R/DVD-R DL、SD カード： 上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
ファイル数 ※ 2	CD-R/CD-RW ： ディスク上の最大 999 ファイル BD-RE： 最大 9999 ファイル DVD-RAM、DVD-R/DVD-R DL、 SD カード： 最大 3000 ファイル
CD(JPEG)	● ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応 ● マルチセッション対応 ● パケットライト方式非対応

※ 1 (BD-RE/DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/CD-R/CD-RW)
最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）

※ 2 (BD-RE/DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/CD-R/CD-RW)
最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG 以外のファイルとの合計とする）

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

■ 指定以外のバッテリーパックを使わない
■ バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
■ バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない
■ 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
■ バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要(寿命)になったバッテリーパックについては、4ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

バッテリーパックは、本機で充電する

本機以外で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグとバッテリーパックを外す

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体や AC アダプターが破損した**

・そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

指定の AC アダプターを使う

- 指定外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ボタン電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機を肌に直接触れた状態で長時間使用しないでください。低温やけど※の原因になります。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

歩行中や乗り物を運転中に使用しない

交通事故の原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

⚠警告

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

接触禁止

風呂場、シャワー室では使用しない

火災・感電の原因になります。

水場使用禁止

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠注意

液晶画面やアンテナやスタンドをつかんで持ち上げたり、運んだりしない

落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

スピーカーやスタンドに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーやスタンドの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

また、磁気の影響を受けるのでテレビやパソコン等の近くに置かないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

ボタン電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外のボタン電池を使わない**
- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠注意

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

スタンドはストッパーワイヤーが張るまで開いて設置する

張るまで開かないで設置すると、倒れたり落下し、けがや製品の故障の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、本機から AC アダプターやバッテリーパックを取り外し、リモコンから電池を取り出す

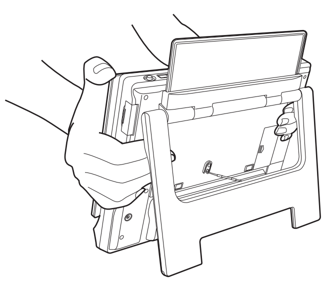
そのまま放置、保管すると、絶縁劣化やろう電、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- ディスクやカードは、保護のため取り出しておいてください。

本機を設置するときや移動させるときは、本体とスタンドの間に指を入れない

本体とスタンドの間に指をはさんで、けがの原因になることがあります。

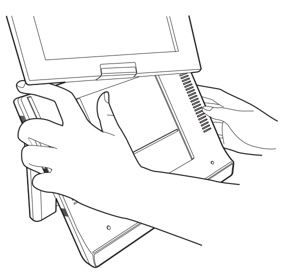
- 特にお子様にはご注意ください。



画面を回転させるときは、画面と本体の間に指を入れない

本体と画面の間に指をはさんで、けがの原因になることがあります。

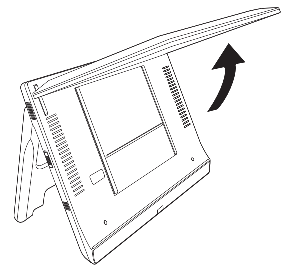
- 特にお子様にはご注意ください。



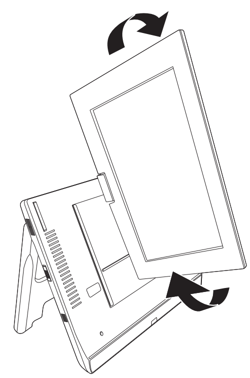
画面を回転させるときのお願い

画面を回転させるときは、下図のように画面を約 90°開いた状態で回転させてください。画面を十分開かずに回転させたり、180°開いた状態で回転させると、画面の周りや、本体などにすり傷がつくおそれがありますのでご注意ください。

1 画面を約 90°開く



2 画面をゆっくり回転させる



- **回転させるときに無理な力を加えたり、回転させる向きと反対方向に無理に回転させると、故障の原因となります。**

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■ 補修用性能部品の保有期間 ８年
当社は、このブルーレイディスクプレーヤー搭載ポータブル地上デジタルテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
「故障かな!?」（➜ 54 ～ 59）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	ブルーレイディスクプレーヤー搭載ポータブル地上デジタルテレビ	お買い上げ日	年　月　日
品　　番	DMP-BV100	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談
パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9700
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 1108

さくいん

た　行

な　行

は　行

ま　行

や　行

ら　行

CLUB Panasonic　ご愛用者登録について

「ご愛用者登録」のご案内

弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。
ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。
※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典1	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをＭｙ家電リストに保存できます。
ご登録特典2	**商品情報をスムーズに入手** Ｑ&Ａや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典3	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

ご登録手順　下記のどちらかを選んでください。

パソコンからの登録方法
次のアドレスにアクセスしてください。
http://club.panasonic.jp/

携帯電話からの登録方法

1 二次元バーコードでアクセス

2 次のアドレスにアクセスしてください。
http://mobile.club.panasonic.jp/
※携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

■お問い合わせ先：CLUB Panasonic事務局（club-info@panasonic.jp）

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

愛情点検	長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤー搭載ポータブル地上デジタルテレビの点検を！

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、バッテリーパックを外して、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため、記入されると便利です。	お買い上げ日	年　　月　　日	販売店名	電話（　　　）　　－
	品番	DMP-BV100		
	B-CASカード番号	B-CASカード番号を記入してください。 お問い合わせのときに必要な場合があります。		

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQT9333-4S
F0209BL4089